

令和4年度

相模原市立博物館 年報



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

令和5年4月1日

令和4年度年報発刊に寄せて

日頃より、ご来館ご観覧ありがとうございます。

年報発刊にあたり令和4年度を振り返ると、3つの特徴が思い浮かびます。

ひとつめは、日本全体の流れと同様、当博物館においても「日常」を取り戻すためのソフトランディングを模索した1年だったということです。年度の途中には情報サービスコーナーや「触れる展示」を再開したり、各種ワークショップや展示解説なども復活させるなど、感染症の状況をにらみながら進める1年でした。

ふたつめは、かつてない規模で庁内外との連携事業を実施できた1年だったということです。近隣の大学との各種連携、そして民間の団体との連携事業もいくつか実現しました。会場についても当館で実施する以外に、商業施設や各区の公共施設などへの出張展示も盛んに行うことができました。また、連携事業以外でも、分野を問わず、テレビやラジオ番組、教科書を含む出版社などからの引き合いが多かったことが印象的です。これらは日ごろの調査研究・資料収集の成果であると同時に、それらを様々な形で公開してきたことによる効果ととらえています。

みつめは、10年来の、あるいはもっと以前からの念願であった、施設管理上の課題のうちのいくつかを解決できたこと、あるいは改修への道筋をつけることができた1年であったということです。令和5年度にはエレベーター改修のため、3か月休館することとなるなど、利用者のみなさまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

これら、令和4年度のすべての事業の成果は、各職員の地道な取組みの結実であると同時に、利用者のみなさまの支持をいただいたことによるものと、心から感謝しています。

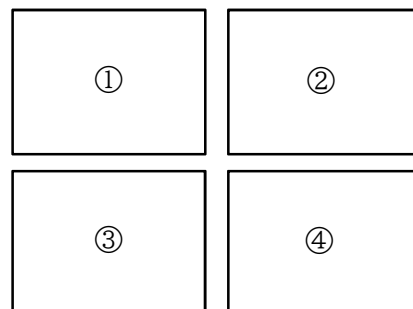
これからご覧いただく令和4年度の年報では、入館者数・プラネタリウム観覧者数などが、コロナ禍前の9割程度まで回復したことなどを報告しています。数字だけがすべてではありませんが、多くのみなさまにご来館いただけるようになったこと、博物館職員一同、大変嬉しく思っています。

これからも、「相模原市立博物館の使命」を果たすべく、調査研究・資料収集・各種普及事業などに取り組むとともに、安心・安全・快適な施設運営に努めてまいります。

令和5年度の、そしてそれ以降の博物館に、どうぞご期待ください。

令和5年4月1日 相模原市立博物館長 佐々木 春美

表紙の写真



- ① 館野鴻絵本原画展「がろあむし 描かれた相模原の自然」
関連事業「土壌動物観察会」の様子
- ② 「プラネタリウムウィンターコンサート」の様子
- ③ 「はやぶさ2 #寄席～宇宙落語とスペシャルトーク～」の様子
- ④ 麻布大学いのちの博物館展示解説サークル「ミュゼット」との
コラボ「生きものミニサロン」の様子

目 次

I	相模原市立博物館概要	2
1	設立の経緯	
2	設置目的	
3	令和4年度 博物館重点目標	
4	博物館ネットワークの推進	
5	相模原市立博物館活動評価書（抜粋）	
II	管理運営	6
1	組織と事務分掌	
2	博物館協議会	
3	施設	
4	予算（当初）	
III	教育普及・学習支援	11
1	入館者数	
2	常設展示	
3	展示	
4	講座・講演会等	
5	広報等その他事業	
6	プラネタリウム・全天周映画	
7	広報・出版等	
8	博物館学芸員実習	
9	団体利用	
10	博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用	
11	相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し	
12	ネットで楽しむ博物館	
13	インターンシップ	
14	博物館職員の講師依頼等	
15	JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」	
16	市民との協働	
IV	資料管理	40
1	博物館収蔵資料点数	
2	収集・整理	
3	有害生物管理の実施	
4	資料の特別利用	
5	JAXA宇宙科学研究所からの借用物	
V	調査研究	47
VI	市史関連事業	48
1	収集・整理事業	
2	普及事業	
VII	博物館所管施設	49
1	尾崎弔堂記念館（緑区又野）	
2	吉野宿ふじや（緑区吉野）	
3	入館者数一覧	
VIII	企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧	53
IX	企画展（特別展示）ポスター一覧	54
X	博物館略年表	55
付録	相模原市立博物館条例 相模原市立尾崎弔堂記念館条例 相模原市吉野宿ふじや管理規程	相模原市立博物館条例施行規則 相模原市立尾崎弔堂記念館条例施行規則

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和53年12月、郷土懇話会や文化協会ほか8団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係6団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和55年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和56年4月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に6か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成5年に着工した。

平成7年11月20日（市制記念日）に開館。開館後は1階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

総入館者数は、平成16年1月に100万人を超え、平成23年8月に200万人、平成31年3月に300万人を超えるなど、毎年、多くの来館者を迎えている。また、多くの市民の会による活動など、近年はボランティアによる活動も盛んになっている。さらに、学校への出張授業や、土器や昔の道具等「貸出しキット」の活用、市内の小学校が来館して学習するなど、学校への支援・連携も積極的に実施している。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。（市立博物館条例第2条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（平成7年11月20日神奈川第32号）

3 令和4年度 博物館重点目標

当館は、地域の総合博物館として、「相模原」の自然、文化並びに天文に親しみ、理解を深める場を提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、いきいきとした市民文化の創造に貢献することを目的としています。

そのため、博物館の使命である、郷土の歴史や文化・自然に関する資料の収集・保存に努め、調査・研究をより一層深めるとともに、その活用を図りながら地域文化を継承し発信拠点となるよう取り組みます。また、学校や関係機関等との連携を促進し、主体的に参加する市民を育成し協働を進めながら、市民文化の向上に資する事業の展開、及び「学び」と「活動」の好循環を生み出す取組に努め、更なる相模原の魅力づくりを推進します。

事業の実施に際しては、SDGsの推進、共生社会の実現及びシビックプライドの醸成を常に念頭に置きながら、『第二次相模原市教育振興計画』の基本方針に則り、具体的な取組を進めます。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にかかる対応を徹底しながら、コロナ禍でも実施できること、コロナ禍だからこそできることを模索していきます。

■ 重点目標 ■

- ・郷土への理解を深めるため、収蔵資料の更なる活用を通し、魅力ある展示に努めます。
- ・日ごろの調査研究の成果を生かし、かつ、関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者や閲覧者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
- ・JAXA等との連携を強化し、プラネタリウム等の特色を生かした宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
- ・市民ボランティア等の育成・充実に取り組み、博物館活動への市民の参画を促進するとともに、協働による事業展開を進めます。
- ・博物館への興味・関心を高めるとともに来館のきっかけとなるよう、多様なメディアを活用し、効果的、魅力的な情報発信に努めます。
- ・人（来館者・従事者）にもモノ（収蔵品）にも安全で快適な環境維持のため、計画的で適切な施設の管理に努めます。

■ 重点施策（取り組むべき事業） ■

1 展示・教育普及事業の推進

- (1) 考古・歴史・民俗・生物・天文・地質等に関する企画展示、講演会等の実施
- (2) 市民ボランティアとの協働による展示の工夫及び事業の実施
- (3) JAXA等との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施
- (4) 尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施
- (5) 市民ボランティアの育成、充実と主体的な活動の促進

2 積極的な情報発信事業の推進

- (1) 広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・ツイッター・YouTube等インターネットを活用した効果的な情報発信の実施
- (2) 機会を捉えた積極的な情報提供の実施

3 施設及び関連施設の維持管理

- (1) 計画的な施設維持管理の実施
- (2) 来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

4 市史関連事業の推進

- (1) 市史編さん関連資料類の整理・保存及び普及活動の実施

5 博物館評価の実施

- (1) 自己評価・利用者意見・博物館協議会委員意見による博物館評価の実施

4 博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじやにおける地元団体への委託事業のほか、社会教育施設等における出張展示や普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

ア 尾崎罌堂記念館展示・普及事業

- …「尾崎行雄を全国に発信する会」へ委託し、次の事業を開催した。
 - ・ミニ企画展「尾崎行雄（罌堂）の桜と相模原市の桜」
関連事業 講演会「東京市長時代の尾崎行雄－日米友好の桜寄贈を中心に－」
 - ・近・現代史講演会「山本五十六と現代」

イ 吉野宿ふじや展示・普及事業

…「NPO法人ふじの里山くらぶ」へ委託し、次の事業を開催した。

・「山下勉 絵画」展

・「甲州道中（相模湖・藤野・上野原）のおひな様」展

ウ 生涯学習部内の連携

…市内の生涯学習施設として相互PRを行うため、企画展の出張ミニ展示を市立図書館で実施し、市立図書館ではミニ展示に関係するブックリストを作成した。また、市立図書館・相模大野図書館・橋本図書館の貸出期限票の裏面に企画展案内を掲載するなど連携を図った。

…「古民家でおひな様 春のおでかけスタンプラリー2023」として、文化財保護課と田名財産管理委員会、博物館で連携し、相模原市古民家園、小原宿本陣、相模田名民家資料館、博物館、吉野宿ふじやにおいて、同時期にひな人形を展示し、各施設をめぐるスタンプラリーを実施した。

エ JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟出張展示（詳細は38頁Ⅲ15参照）

…博物館とJAXAの連携のひとつとして、JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟の博物館紹介コーナーに出張展示を行った。

5 相模原市立博物館活動評価書（抜粋）

I 相模原市立博物館活動評価の総括

（評価期間：令和2年度～令和3年度）

- 平成20年6月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命及び重点目標等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会による有識者評価を経て、平成23年度～25年度評価、平成26年度～28年度評価、及び平成29年度～令和元年度評価に引き続き、第4回目となる令和2年度から令和3年度までの活動について点検・評価を行った。

【当館の使命】

- 地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること
- 主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること

【評価項目】

- 1 展示教育普及事業の推進
- 2 関連施設・機関との連携
- 3 市民との協働による博物館活動の展開
- 4 博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動

令和2年度～令和3年度における活動評価全体総括

- 「市民と歩む博物館」を活動理念として掲げ、多くの市民団体と協力して博物館活動を展開していることが評価された。
具体的には、ボランティアとの協働により教育普及事業及び各専門分野の活動をはじめ、図書館や公民館などとの連携、小中学校を中心に学校への学習支援などが評価された。さらには、JAXA宇宙科学研究所と連携した多彩な宇宙教育普及事業の実施を推進してきた点も評価された。
- 博物館の活動についてネットメディアなどを活用した情報発信は活発に行われていることが評価された。課題としては、若い世代に向けたSNSの活用や利用者目線でのホームページの構築、動画の編集・公開方法、広報媒体の再検討など、広報活動に改善する余地があることに

について指摘された。

地域文化を継承・発信する拠点としての博物館の使命を果たすべく、こうした評価を真摯に受け止め、今後とも改善を積み重ねて活動を推進していく。

【定量評価】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館となったため、様々な事業が中止となり、入館者は大幅に減少した。しかし、そのような状況でも、感染対策を取りながら、企画展やイベントを実施したり、動画を配信したりするなどして、市民の学習機会の場を維持し、生涯学習機関としての博物館として役割を果たすことができた。

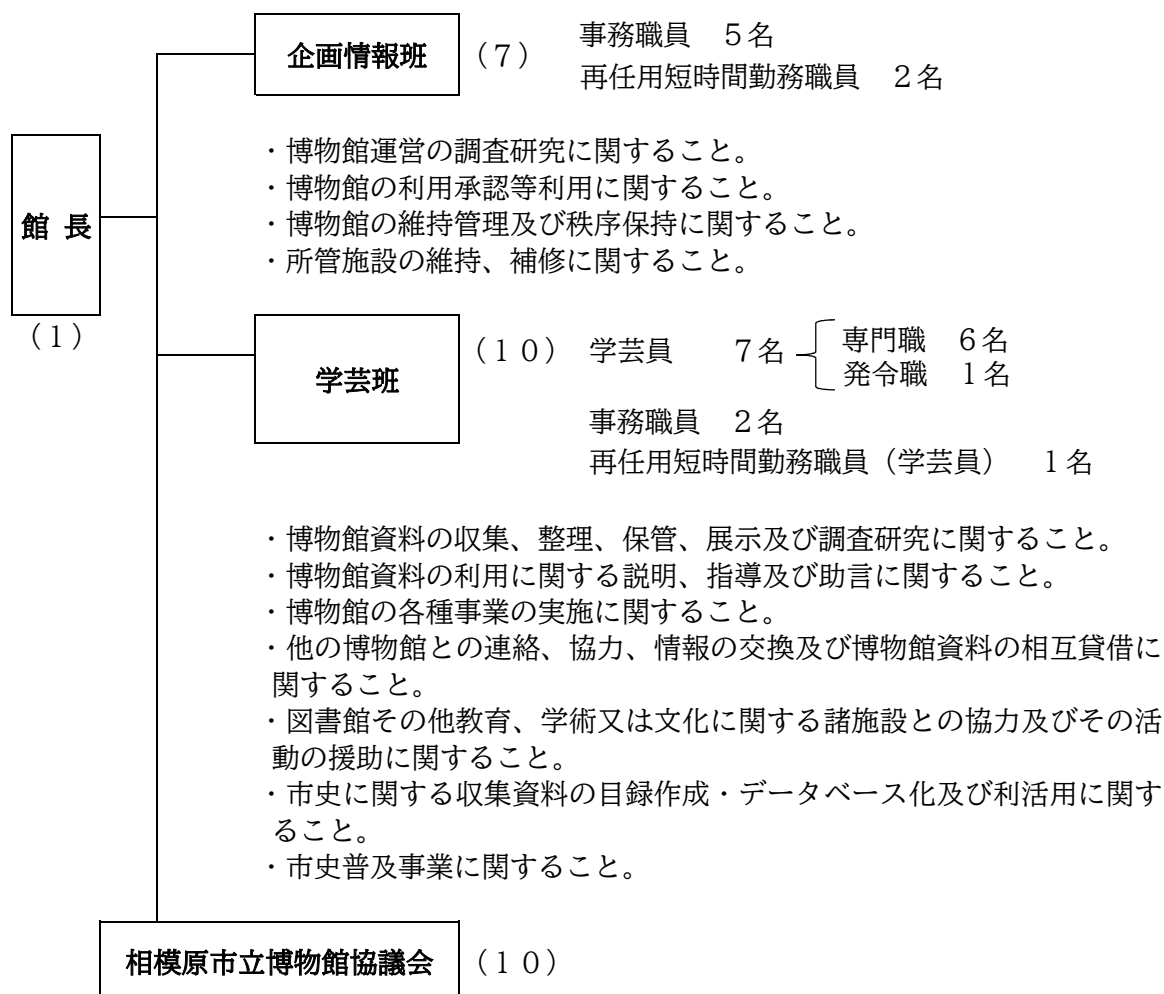
【定性評価】

- 1 展示教育普及事業の推進では、「企画展示の実績と常設展示リニューアル」「宇宙教育普及事業の展開」について評価を行った。
有識者からは、コロナ禍でも感染対策を取りながら企画展や「はやぶさ2」帰還カプセル世界初公開等を実施したことが評価された。また、宇宙教育普及事業では、JAXA宇宙科学研究所との連携も進めつつ、博物館独自の事業、特に、気象分野も含めた事業展開も求められた。
課題として、開館から25年以上が経過している中で常設展示の全面リニューアルが実現できていないことや、分野横断型の本当の意味での総合博物館としての企画が実現できていないことが挙げられた。
- 2 関連施設・機関との連携では、「博物館ネットワークの推進」「学校への学習支援」「図書館・公民館等との連携」について評価を行った。
有識者からは、学校への学習支援や公民館等への講師派遣などが積極的に進められている点、及び、関連施設でのミニ展示の出張展示について評価された。
課題として、学校との連携や学習支援に不可欠である博物館と学校をつなぐ役割を果たすコーディネーターの配置や、津久井地域にある所管施設の利用促進が挙げられた。
- 3 市民との協働による博物館活動の展開では、「市民の会の活動の展開」「市民学芸員の活動の展開」について評価を行った。
有識者からは、博物館活動のあらゆる場面で市民と協働している点や市民活動の発表の場を設けている点が評価された。また、市民の会には、さらなる博物館活動への参加が期待されている。
課題として、高齢化による市民の会への参加者減少の対応策や、常設展示の展示替えをいかに市民協働で実現していくのかが指摘された。
- 4 博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動では、「資料整理及び展示、調査成果の公表」「様々なメディアを用いた情報発信の取組」について評価を行った。
有識者からは、動画配信や積極的な広報活動が評価された。
課題として幅広い世代を対象に、様々な手段を用いて広報活動を展開することが求められた。
また、学芸員の調査研究活動について、博物館の活動を支える重要な機能の一つであることから、展示教育普及事業等とのバランスを図るよう求められた。

Ⅱ 管理運営

1 組織と事務分掌

令和5年3月31日現在



・会計年度任用短時間勤務職員

博物館学習指導員 (1)

市史資料調査員 (3)

事務補助員 (收藏品整理) (3)

事務補助員 (尾崎罌堂記念館施設管理業務) (3)

事務補助員 (吉野宿ふじや施設管理業務) (2)

事務補助員 (2)

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

令和3年11月20日～令和5年11月19日

◎会長 ○副会長

氏 名	備 考	選出区分
藤田 博己	小学校校長	学校教育
五十里 雅子	高等学校校長	
大貫 英明	市文化財研究協議会副会長	社会教育
篠田 春美	市PTA連絡協議会副会長	
○ 吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育
◎ 岩野 秀俊	元日本大学生物資源科学部教授	学識経験者
浜田 弘明	桜美林大学教授	
藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	
山本 幸奈	市民公募	市の住民
中里 真紀子		

(3) 活動状況

回	開 催 日	お も な 内 容
1	7月14日(木)	・相模原市立博物館活動評価書について ・令和3年度博物館事業報告 ・令和4年度博物館事業計画について
2	10月28日(金)	・令和2年度・3年度相模原市立博物館活動評価(案)について
3	令和5年2月7日(火)	・令和4年度事業実施状況について ・令和5年度事業実施計画について ・相模原市立博物館活動評価(案)について

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03㎡
オ 延床面積	9,510.24㎡
カ 休館日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く） 年末年始（12月28日～1月3日）
キ 開館時間	午前9時30分～午後5時

	用途・面積	主な室	内 容
展示・教育	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXAから借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近な資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する参考図書等を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
	プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。
保管・研究	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。
管理・共用	管理・共用 スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

ク 博物館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応

月	博物館の対応と経過	
10月	11日(土) ・プラネタリウム内において、原則マスク着用を要請するが、会話が行われないことを前提に他人と2m以上の距離を確保できる場合は、マスクを外すことも可能とする。 ・プラネタリウム内の消毒は、高頻度接触部位に限定。	
12月	17日(土) ・情報サービスコーナーを再開。	
3月	14日(火) ・マスク着用の案内について、重症化リスクの高い人等を感染させない配慮は継続しながら、個人の判断に委ねる表記に変更。 ・実習実験室・大会議室・天文研究室・休憩コーナーの座席・定員の制限を撤廃(喫茶室のみ4人掛けテーブルを2人掛けとして運用)。	

ケ スマートフォン等による展示ガイド

博物館内にフリーWi-Fiを再整備し、スマートフォン等を活用した多言語対応の展示ガイドを常設展示室に導入した。

(2) 施設管理業務委託(委託料年間1,000万円以上)

- ・総合管理業務委託 (株)オーチャー 相模原支店
委託期間 令和3年6月1日～令和6年5月31日
- ・受付業務委託 (株)ギオン
委託期間 令和3年6月1日～令和5年5月31日
- ・プラネタリウム操作等業務委託 (株)東急コミュニティー
委託期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(3) 消防訓練

- ・令和4年7月13日(水)
- ・令和5年3月17日(金)

4 予算（当初）

（単位：千円）

款	項	目	科目名	4年度予算額	5年度予算額	財源内訳	4年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	1,442	100	一般財源	1,442
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	239,172	547,655	一般財源	220,792
						特定財源	18,380
計				240,614	547,755		240,614

博物館費

節		説 明			
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費			
0 1 報酬	265	経費内訳	4年度	5年度	
0 7 報償費	2,204	1 博物館協議会経費	270	290	
0 8 旅費	213	2 施設運営費	46,186	47,119	
1 0 需用費	59,534	（1）資料収集保存経費	3,362	5,086	
1 1 役務費	799	（2）資料調査研究経費	1,087	924	
1 2 委託料	165,142	（3）展示・教育普及事業経費	4,265	3,295	
1 3 使用料及び賃借料	10,903	（4）プラネタリウム事業経費	37,150	37,452	
1 7 備品購入費	0	（5）その他運営費	322	362	
1 8 負担金、補助及び交付金	112	3 施設維持管理費	190,983	239,539	
		4 博物館施設整備事業費	0	259,049	
		5 市史関連事業	23	23	
		（1）市史関連事業費	23	23	
		6 一般事務費	1,710	1,635	
合計	239,172	合計	239,172	547,655	

Ⅲ 教育普及・学習支援

1 入館者数

(1) 令和4年度計 123,193人

(2) 総 計 3,400,840人

(3) 詳 細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会講座等	企画展 関連事業	観覧料	開館日数	1日平均
			一般投影	全天周映画	学習投影							
令和4年4月	7,431	2,499	1,509	990	0	4,855	28	13	74	811,500	26	286
5月	10,206	3,398	1,558	1,119	721	5,747	40	568	38	1,003,610	25	408
6月	11,712	3,723	1,536	1,163	1,024	2,861	40	405	65	1,036,590	24	488
7月	12,792	5,620	3,054	1,862	704	8,510	40	83	202	1,724,620	28	457
8月	15,980	7,855	4,535	3,291	29	11,880	37	722	37	2,529,490	30	533
9月	9,325	3,706	1,747	1,236	723	3,997	45	149	0	1,071,100	26	359
10月	11,156	3,800	1,477	973	1,350	2,440	35	506	0	948,590	26	429
11月	10,766	4,454	1,347	689	2,418	6,854	45	136	342	730,020	24	449
12月	5,649	2,351	984	557	810	3,656	39	269	203	516,830	23	246
令和5年1月	8,506	3,973	1,543	835	1,595	2,447	46	15	128	787,100	22	387
2月	9,701	3,580	1,227	960	1,393	5,801	37	584	114	795,990	23	422
3月	9,969	3,188	1,637	1,063	488	4,146	29	235	82	883,880	27	369
令和4年度計	123,193	48,147	22,154	14,738	11,255	63,194	461	3,685	1,285	¥12,839,320	304	405

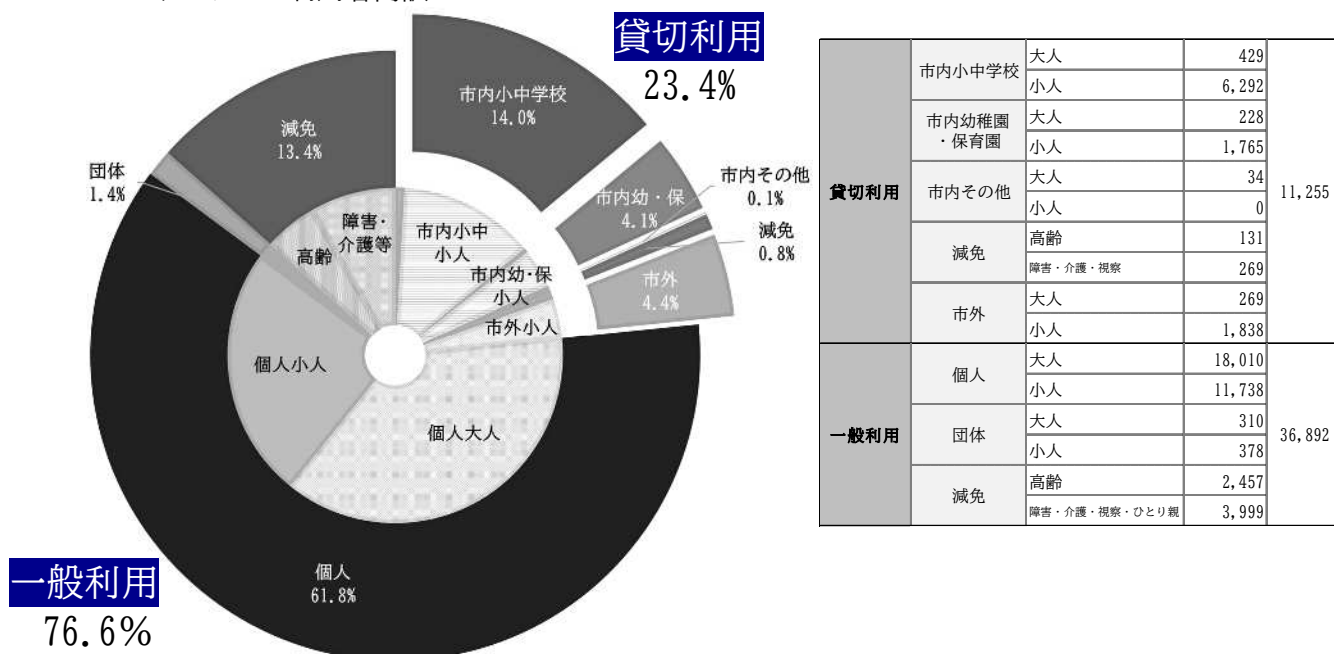
(参考) 開館からの総計

平成7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836		¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186		¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167		¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696		¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255		¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258		¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574		¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277		¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873		¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148		¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725		¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896		¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245		¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517		¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681		¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249		¥25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438		¥17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100		¥15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114		¥15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344		¥13,971,950	303	418
27年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114		¥14,303,490	304	435
28年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167		¥14,568,880	303	413
29年度	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677	72,876	1,588	16,941		¥15,673,280	304	454
30年度	136,450	56,530	27,025	18,639	10,866	73,069	1,681	11,841		¥14,551,270	304	449
令和元年度(※1)	138,573	55,195	22,585	21,901	10,709	78,289	1,343	8,962	2,594	¥13,999,290	278	498
2年度(※2)	49,770	14,323	6,816	5,942	1,565	15,275	-	1,542	-	¥4,433,660	195	255
3年度(※3)	83,550	25,700	12,295	8,383	5,022	47,727	15	5,667	3,045	¥7,478,550	256	326
4年度	123,193	48,147	22,154	14,738	11,255	63,194	461	3,685	1,285	¥12,839,320	304	405
総 計	3,400,840	1,421,721	575,566	557,849	288,306	1,539,837	32,709	203,498	6,924	¥386,889,510	8,098	420

※1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館

- ※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日（水）～6月8日（月）及び令和3年1月13日（水）～3月21日（日）休館（「はやぶさ2」帰還カプセル世界初公開展示期間（3月12日（金）～3月16日（火））は往復はがきでの抽選による当選者のみ公開）及び令和2年4月1日（水）～6月18日（木）プラネタリウム休止
- ※3 緊急事態宣言の発令に伴い、令和3年8月6日（金）～9月30日（木）休館

プラネタリウム利用者内訳



2 常設展示

常設展示は、「自然・歴史展示室」と「天文展示室」の2つ。

「自然・歴史展示室」は、「川と台地と人々の暮らし」を全体テーマとし、「台地の生い立ち」、「郷土の歴史」（令和5年3月に郷土の偉人 尾崎行雄（罌堂）に関するミニコーナーを設置）、「くらしの姿」、「人と自然のかかわり」、「地域の変貌」の5つのテーマに分けられている。相模原の自然・歴史について実物資料、レプリカ、映像、解説パネルなどにより学ぶことができる。

「天文展示室」は、「宇宙とつながる」をテーマに、宇宙の映像や隕石資料、太陽のライブ映像、JAXAとの連携展示などを通して、宇宙と自分をつなげて考える場を提供している。

3 展示

(1) 企画展（特別展示）（全7件）

	事業名	会期・実施日	来場者	内容・備考
1	館野鴻絵本原画展 「がろあむし 描かれた相模原の自然」	3/26(土) ～6/5(日)	12,023人 (4/1以降)	相模原市域が調査取材地の一つである絵本『がろあむし』の原画を展示するとともに、館野氏の絵本世界や、知られざる地下の生きものについて紹介。
(1)	作画実演！館野鴻の手もとを観察せよ	4/10(日)	74人	館野氏の実際の製作の様子を間近に見ながらトークを楽しんだ。
(2)	土壌動物観察会	5/22(日)	38人	館野氏と、共に絵本製作のための調査を行った土壌動物写真家の吉田 譲氏が講師を務めた観察会。
(3)	緊急開催！ 館野鴻トークショー 「館野鴻の仕事、これから」	6/5(日)	65人	会期最終日に、様々な分野へ活躍の場を広げる館野氏が、これからの仕事について語った。
2	JAXA連携企画展 「相模原と月Vol. 2 ～太陽系惑星の月たち～」	6/25(土) ～8/28(日)	21,830人	月(衛星)に関連するJAXAのミッションや星景写真、月にまつわる行事について展示。 主催 博物館 共催 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
(1)	昼間の月を見よう！	7/23(土)	119人	日中に天体観測室やテラスを解放し、月の観望会を実施。 講師 当館学芸員
(2)	講演会 「火星衛星探査計画MMX」	7/31(日)	83人	火星衛星探査計画MMXの研究者による講演会。 講師 清水 雄太さん (東京大学大学院工学系研究科) 逸見 良道さん (東京大学総合研究博物館)
(3)	親子天文教室 「手作り望遠鏡で月を見よう！」	8/11(木・祝)	37人	天体望遠鏡の工作キットを親子で組み立て、その後、作った望遠鏡などで観望会を実施。 講師 当館学芸員
3	わお！な生きものフォトコンテスト作品展	9/10(土) ～10/16(日)	6,437人	(公財)日本自然保護協会とソニー(株)が進める「わお！わお！生物多様性プロジェクト」が開催するフォトコンテストの入賞作品展。

令和4年度 相模原市立博物館 年報

4	学習資料展 「昔の小学生 －昭和30～40年代の子 どもの世界－」	11/1(火) ～R5/1/15(日)	12,957人	昭和30～40年代の子ども たちの「学び」「遊び」「家庭 生活」について紹介した展 示。 協働市民学芸員 *5と同時開催
(1)	紙芝居実演(全8回)	11/6(日) 11/13(日) 11/23(水・祝) 11/27(日)、 12/4(日) 12/18(日) 12/25(日)、 1/8(日)	延べ389人	街頭紙芝居の実演を実施。 講師市民学芸員
(2)	ぶんぶんゴマで遊ぼう (全2回)	11/23(水・祝) 1/6(金)	延べ173人	ぶんぶんゴマを作って遊んで もらうイベントを実施。 講師市民学芸員
(3)	ガリ版印刷 ちょこっと 体験(全2回)	12/25(日) 1/8(日)	延べ51人	活版印刷を体験してもらうイ ベントを実施。 講師市民学芸員
5	ようこそ！竹細工ワールド へ！！久保沢最後の籠屋さ ん	11/1(火) ～R5/1/15(日)	12,957人	竹細工を紹介しながら、籠屋 (竹細工職人)の仕事について も紹介。 協働福の会 *4と同時開催
(1)	展示解説(全2回)	11/13(日) 12/11(日)	延べ60人	講師竹細工道具寄贈者、当館 学芸員
6	令和4年度かながわの遺跡 展 「縄文人の環境適応」	2/7(火) ～3/5(日)	7,430人	県内遺跡を中心とした縄文時 代中期～晩期の様相について 展示。
(1)	展示解説(全2回)	2/11(土・祝) 3/4(土)	延べ129人	講師児玉 優さん (展示担当学芸員、神奈 川県教育委員会)
(2)	特別講演 「縄文時代の身体象徴と 環境変化」	2/19(日)	56人	縄文時代中期～晩期の講演を 実施。 講師中村 耕作さん (国立歴史民俗博物館准 教授)
7	考古企画展 「新発見！さがみはらの遺 跡」	3/18(土) ～4/16(日)	2,517人 (3/31時点)	新たに収蔵された考古資料か ら、地域の歴史を紹介。
(1)	展示解説	3/26(日)	11人	講師当館学芸員

(2) ミニ展示 (全19件)

	事業名	会期・実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1	ミニ展示 「あこがれのテレビ」	R3/12/1(水) ～4/6(水)	1,640人 (4/1以降)	津久井郷土資料室に収蔵されていた広告などテレビ関係の資料を展示。 <u>協働</u> 市民学芸員 *R3年度からの継続事業
2	市史ミニ展示 「昭和初期の串川村絵はがき」	3/13(日) ～5/22(日)	15,307人 (4/1以降)	絵はがきから、地域の公共施設や産業施設、学校、神社仏閣など、当時の串川の風景を紹介。 *R3年度からの継続事業
3	東京2020大会レガシー関連ミニ展示	3/19(土) ～5/15(日)	13,349人 (4/1以降)	東京2020大会のレガシー(遺産)として博物館で保管している大会関係資料を紹介。 *R3年度からの継続事業
4	ミニ下水道ワールド ～こんじゃくものがたり編～・ ガンダムマンホール蓋巡回展示	4/13(水) ～5/8(日)	7,999人	下水道(糞尿の始末)の歴史について紹介した。 <u>連携</u> 下水道経営課・博物館
5	ミニ展示 「五つの湖を知っていますか？」	5/11(水) ～9/6(火)	48,292人	津久井郷土資料室に収蔵されていた資料から、市内の5つの湖について紹介。 <u>協働</u> 市民学芸員
6	ミニ展 「意外と知らない身近な鉱物」	5/21(土) ～7/24(日)	25,053人	広く一般的な岩石中に含まれる代表的な鉱物について紹介。
7	はやぶさの日記念 「小惑星リュウグウサンプルのレプリカ」展示	6/12(日) ～6/19(日)	4,675人	JAXA等が制作した「はやぶさ2」が持ち帰った小惑星リュウグウのレプリカを展示。 *尾崎弔堂記念館・吉野宿ふじやで同時展示(入館者数には含まない)
8	市史ミニ展示 「学び再編ー終戦直後の暫定教科書ー」	7/16(土) ～9/18(日)	28,769人	終戦直後の墨塗教科書や暫定教科書を展示。
9	ミニ展示 「遠くからやってきた黒曜石ー旧石器・縄文時代の石器からー」	7/30(土) ～9/25(日)	25,712人	市内から出土した旧石器・縄文時代の黒曜石を展示。
10	博物館実習生展	9/17(土) ～10/16(日)	10,641人	考古・民俗・生物・地質・天文分野の博物館実習生がまとめた実習成果を紹介。
11	ミニ展示 「相模原ふるさといろはかるた」	9/27(火) ～R5/1/15(日)	31,551人	市民学芸員が作成した市内47ヶ所の名所・旧跡などを紹介した「いろはかるた」を展示。 <u>協働</u> 市民学芸員

令和4年度 相模原市立博物館 年報

12	ミニ展示 「子ども向け雑誌」	10/5(水) ～3/28(火)	53,852人	津久井郷土資料室に収蔵されていた資料から、子ども向け雑誌を展示。 会期前期：10/5～1/9 後期：1/13～3/28
13	市史ミニ展示 「キャンプ淵野辺の返還」	10/15(土) ～1/9(月・祝)	25,049人	軍都計画で設置された「陸軍機甲整備学校」や、終戦後の「キャンプ淵野辺」及び返還活動について展示。
14	ミニ企画展 「尾崎行雄(号堂)の桜と相模原市の桜」	11/5(土) ～12/18(日)	14,022人	尾崎行雄による米国への桜寄贈と、相模原市の桜への取り組みを紹介。
(1)	講演会 「東京市長時代の尾崎行雄－日米友好の桜寄贈を中心に－」	12/4(日)	23人 (参加者数)	東京市長時代の尾崎に関する講演会。 講師 石田 尊昭さん ((一財)尾崎行雄記念財団 理事・事務局長)
15	ミニ展示 「令和4年宇宙の日記念 全国小中学生作文・絵画 コンテスト受賞作品展」	12/17(土) ～3/31(金)	30,182人	全国小・中学生作文絵画コンテストにおいて、当館に応募のあった作品の館内受賞作品について展示。
16	十二支ミニ展示「卯」	12/17(土) ～1/9(月・祝)	4,036人	令和5年の干支から、十二支の「卯(うさぎ)」にまつわる市域の博物館資料等を紹介。
17	ミニ展示 「富士の星暦 写真展」	1/4(水) ～3/31(金)	28,176人	上映中の全天周映画「富士の星暦」で映像・CGを制作したKAGAYAさんが撮影した四季の星空と富士山の絶景写真を展示。
18	NHK大河ドラマ“どうする家康”関連ミニ展示 「相模原にあった!? 徳川家康ゆかりの地」	1/7(土) ～3/27(月)	26,081人	市内を中心に、徳川家康やその祖先、重臣に関係するゆかりの地について紹介。
19	市史ミニ展示 「津久井郷土資料室と雑誌『日本少年』」	1/15(日) ～3/18(土)	21,223人	平成27年に閉室した津久井郷土資料室の歴史、収蔵資料の雑誌『日本少年』について紹介。

(3) 巡回・出張展示 (全9件)

	事業名	会期	期間中の入館者数	内容・備考
1	ミニ企画展 「尾崎行雄の不戦運動」巡回展示 @尾崎号堂記念館	4/16(土) ～6/12(日)	137人	尾崎行雄の不戦運動をテーマとしたパネル展示。
2	大河ドラマ“鎌倉殿の13人”関連ミニ展示 「鎌倉時代初めの相模原の武士団 横山党」巡回展示 @吉野宿ふじや	4/16(土) ～6/12(日)	219人	鎌倉時代初期に市内で活躍した横山党や、13人の御家人の1人・和田義盛ゆかりの地などを紹介。
3	大河ドラマ“鎌倉殿の13人”関連ミニ展示 「鎌倉時代初めの相模原の武士団 横山党」巡回展示 @尾崎号堂記念館	6/18(土) ～8/28(日)	379人	鎌倉時代初期に市内で活躍した横山党や、13人の御家人の1人・和田義盛ゆかりの地などを紹介。

令和4年度 相模原市立博物館 年報

4	ミニ企画展 「尾崎行雄の不戦運動」巡回展示 @総合学習センター	8/7(日) ～8/19(金)	888人	尾崎行雄の不戦運動をテーマとしたパネル展示。
5	ミニ企画展 「尾崎行雄の不戦運動」巡回展示 @南区合同庁舎	9/1(木) ～9/30(金)	－ (入館者カウントなし)	尾崎行雄の不戦運動をテーマとしたパネル展示。
6	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連ミニ展示 「鎌倉時代初めの相模原の武士団 横山党」巡回展示 @麻布大学いのちの博物館	10/20(木) ～12/23(金)	2,084人	鎌倉時代初期に市内で活躍した横山党や、13人の御家人の1人・和田義盛ゆかりの地などを紹介。
7	JOMONミニ博物館がやってきた！・さがみはらJOMONまなびのスポット @アリオ橋本	10/22(土) 10/23(日)	1,341人 (来場者数)	市内出土の縄文時代中期の土器や石器を展示するとともに、博物館や市内の4史跡を紹介。
8	ミニ企画展 「尾崎行雄の不戦運動」巡回展示 @橋本図書館	R5/1/6(金) ～1/31(火)	43,973人	尾崎行雄の不戦運動をテーマとしたパネル展示。
9	ミニ展示 「相模原ふるさといろはかるた」巡回展示 @麻布大学いのちの博物館	1/23(月) ～5/9(火)	686人 (3/31時点)	市民学芸員が作成した市内47ヶ所の名所・旧跡などを紹介した「いろはかるた」を展示。 協働 市民学芸員 *R5までの継続事業

4 講座・講演会等

(1) 講演会 (全7件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	はやぶさWEEK 「JAXA研究者による講演会」	6/19(日)	100人	6月13日のはやぶさの日になみ、「はやぶさ」や「はやぶさ2」に関係する研究者による講演会を実施。 講師 白井 寛裕さん (JAXA宇宙科学研究所 地球外物質研究グループ 長) 連携 観光・シティプロモーション課・博物館 協力 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

令和4年度 相模原市立博物館 年報

2	アステロイドデー2022 スペシャルトーク	7/2(土)	60人 (うちオンライン 25人)	6月30日の「小惑星の日」を記念し、日本スペースガード協会やJAXA等の研究者が講演し、インターネット配信も実施。 講師 奥村 真一郎さん (日本スペースガード協会 理事長) 浦川 聖太郎さん (日本スペースガード協会/スペースガード研究センター 主任研究員) 吉川 真さん (JAXA 元はやぶさ2 ミッションマネージャ) 平林 正稔さん (オーバーン大学) ほか 主催 日本スペースガード協会 共催 博物館 協力 JAXA・国立天文台・日本惑星協会・宮城県角田市・(公財)角田市地域振興公社・星空公団
3	「はやぶさ2」カプセル帰還2周年記念 「JAXA研究者のリレー講演会」	12/11(日)	221人	小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセル帰還2周年を記念し、講演会を実施。 講師 中澤 暁さん (JAXA はやぶさ2 拡張 ミッションチーム) 安部 正真さん (JAXA 宇宙科学研究所 地球外物質研究グループ) 坂井 真一郎さん (JAXA SLIM プロジェクトマネージャ) 山口 弘悦さん (JAXA 宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系 准教授) 連携 観光・シティプロモーション課・博物館 協力 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
4	近・現代史講演会 「山本五十六と現代」	R5/1/22(日)	29人	尾崎行雄と交流のあった山本五十六に関する講演会。 会場 尾崎弔堂記念館 講師 渡邊 裕鴻さん(海軍史家)

令和4年度 相模原市立博物館 年報

5	はやぶさ2 #寄席 ～宇宙落語とスペシャル トーク～	2/18(土)	231人 (うち全天周映画 鑑賞140人)	落語家の桂 福丸さんによる宇宙 を題材にした落語や全天周映画 鑑賞、映画監督及び研究者ら を交えたトークショーを開催。 講師 桂 福丸さん (落語家) 上坂 浩光さん (「HAYABUSA2 ～REBORN」監督) 津田 雄一さん (JAXA 元はやぶさ2 プロジェクトマネージャ) 吉川 真さん (JAXA 元はやぶさ2 ミッションマネージャ) 主催 博物館 共催 相模原市民文化財団 協力 JAXAはやぶさ2 #
6	一日限りのあかつきトーク ライブ!	2/26(日)	80人	金星探査機「あかつき」の現状 と最新の科学成果を分かりやす く説明する講演会を実施。 講師 中村 正人さん (JAXA宇宙科学研究所 教授) 主催 博物館 協力 JAXAあかつき後期運用 チーム
7	民俗講演会 「相模原の石仏」	3/26(日)	120人	市内の石仏についての講演会。 講師 当館学芸員

(2) 講座 (全4件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	地質学講座 「身近な石の中の鉱物 造岩 鉱物の基礎」(全4回)	5/14(土) 5/28(土) 6/11(土) 6/25(土)	延べ76人	広く一般的な岩石中に含まれる 代表的な鉱物である造岩鉱物の 初歩について座学形式で学ん だ。
2	考古学講座 「下溝の縄文遺跡を辿る。」 (全3回)	9/3(土) 9/10(土) 10/1(土)	延べ70人	下溝の縄文時代中期、後期の集 落について、遺跡解説、現地探 訪、外部講師による講演を行っ た。 講師 当館学芸員 阿部 友寿さん※ (かながわ考古学財団) ※10/1(土)のみ

3	中央地区 「子どもと大人共に学ぶ宇宙教室」公開講座	9/11(日)	78人	同教室のプログラムであるJAXA職員を講師に招いた講演を公開講座として実施。 講師 大川 拓也さん (JAXA宇宙科学研究所 宇宙科学広報・普及主幹付) 主催 中央地区宇宙教室実行委員会 共催 博物館・中央地区自治会連合会・中央地区社会福祉協議会・中央地区青少年健全育成協議会 後援 国民生活センター・中央区役所 協力 JAXA
4	研究機関等公開講座 JAXAコース 『はじめての宇宙科学』～三世代で星空を眺めよう～	R5/2/25(土)	81人	生涯学習センターが開催する研究機関等公開講座JAXAコースにおいて、プラネタリウムで全天周映画を観覧後、講演を実施。 講師 大川 拓也さん (JAXA宇宙科学研究所 宇宙科学広報・普及主幹付) 連携 生涯学習センター・博物館

(3) 体験学習 (全12件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	はやぶさWEEK ロボットで体験! 「はやぶさ2」の旅路 ～小学生向けレゴ®ロボットプログラミングイベント～	6/11(土) 6/12(日)	延べ253人	レゴ®で「はやぶさ2」を組み立てた後、机上を宇宙に見立て、「はやぶさ2」のミッションをプログラミングで再現。 講師 株ノジマスタッフ 主催 株ノジマ・博物館 協力 JAXA
2	International Moon Day ～月でジャンプ!～	7/21(木)	17人	NASAが提唱している、7月20日の「国際月の日」にちなみ、JAXAが月について知るVR体験「月でスキージャンプ!」や講座を実施。 講師 JAXA宇宙教育センター職員 主催 JAXA宇宙教育センター 共催 博物館
3	子ども鉱物教室 「鉱物のふしぎ」(全2回)	7/30(土) 8/6(土)	延べ42人	ミョウバンの育成実験や鉱物の硬さ比べを通して、鉱物についての初歩を学んだ。 講師 当館学芸員
4	繭うさぎ作り	8/24(水)	65人	博物館で育てた繭を使用して繭うさぎを製作。 講師 博物館実習生(民俗) 市民学芸員

令和4年度 相模原市立博物館 年報

5	国際お月見ナイト ー世界のみんなと月を見上げよう！ー	10/9(日)	65人	NASAが主導するイベントに関連して、JAXAの月探査について最新の話題を紹介する講演会やクイズ大会を実施。 講師 大川 拓也さん (JAXA宇宙科学研究所 宇宙科学広報・普及主幹付) 主催 JAXA 共催 博物館
6	JAXA相模原キャンパス特別公開 「宇宙エレベータ体験」	10/22(土)	220人	JAXA相模原キャンパス特別公開の一環として実施。 講師 日本大学理工学部 精密機械工学科 ロボット工房 宇宙エレベーターチーム 主催 JAXA 共催 博物館・相模原市・(公財)宇宙科学振興会
7	JAXA相模原キャンパス特別公開 「ホバークラフトづくり」	10/22(土)	72人	JAXA相模原キャンパス特別公開の一環として実施。 講師 JAXA宇宙教育センター 職員 主催 JAXA 共催 博物館・相模原市・(公財)宇宙科学振興会
8	博物館×若あゆ 宇宙&野外炊事イベント	11/12(土)	40人	博物館でプラネタリウム鑑賞と昼間の星の観望を行った後、若あゆで野外炊事天体観望を実施。 講師 当館学芸員 主催 博物館・相模川自然の村体験教室
9	繭うさぎ作り	R5/2/5(日)	178人	博物館で育てた繭を使用して繭うさぎを製作。 講師 市民学芸員
10	中央区こどもカレッジ 「ちょっと宇宙、見てみない？」(オンラインイベント)	2/11(土・祝)	79人	オンラインで宇宙に関する講話を実施。 講師 岡部 明海さん (株)amulapo) 大川 拓也さん (JAXA宇宙科学研究所 宇宙科学広報・普及主幹付) 当館学芸員 連携 中央区地域振興課・博物館

11	中央区こどもカレッジ 「ちょっと宇宙、見てみな い？」(現地イベント)	3/11(土)	87人	博物館を会場にVR体験や昼間 の観望会と、JAXA宇宙科学 探査交流棟を見学。 講師 岡部 明海さん (株)amulapo 大川 拓也さん (JAXA宇宙科学研究所 宇宙科学広報・普及主幹 付) 当館学芸員 連携 中央区地域振興課・博物館
12	かんじる学校 こどものための 影絵ワークショップ ～みんなできょじん 「でいらぼっち」になって みよう～	3/21(火・祝)	20人	相模原で伝承される巨人伝説 「でいらぼっち」をテーマに、 人形を制作し、影絵 の体験を実 施。 講師 川村 亘平 斎 (影絵師・音楽家) 演奏 小林 武文 (打楽器奏者・音楽家) 主催 (公財)相模原市民文化財団 共催 博物館

(4) 観察・探訪会 (全2件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	生きものミニサロン(全12 回)	4/23(土) ～R5/3/25(土) (月1回土曜日に開催)	延べ319人	博物館周辺や館内で身近な自然 観察をしたり、ゲーム形式で生 きもの探しなどを行った。
2	中央区役所×博物館 「鎌倉殿の13人関連 上溝 周辺中世さがみはら探訪」	11/26(土)	19人	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」 にちなみ、上溝周辺の中世にま つわる寺社、文化財等を探訪。 連携 中央区役所・博物館

(5) 観望会 (全1件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	ナイトプラネタリウム&観 望(全12回)	4/9(土) ～R5/3/25(土) (月1回開催 ・定員各回40人)	延べ461人	当日の星空などを解説するプラ ネタリウム生解説番組を観覧 後、天体観測室にある口径40 cmの大型望遠鏡などを使い、 見ごろの天体を観望。 講師 当館学芸員 プラネタリウム解説員 市民学芸員

(6) クイズラリー (全2件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	国際博物館の日記念 スペシャルクイズラリー	5/14(土) ～5/22(日)	延べ509人 (解答用紙 配布数)	ICOMが提唱する「国際博物 館の日」を記念して、博物館や 展示資料にまつわるクイズラ リーを実施。
2	探検！発見！クイズラリー 2022	8/5(金) ～8/7(日)	延べ601人	展示資料にまつわるクイズラ リーを実施。 協働 市民学芸員

(7) 成果発表会 (全3件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	学びの収穫祭(展示発表)	11/19(土) ～12/16(金)	8,300人 (期間中の 入館者数)	博物館のボランティアグループ 及び関連の団体、個人等が日頃 の研究成果や活動状況をポス ター形式で発表。
2	学びの収穫祭(口頭発表会)	11/19(土)	47人	博物館のボランティアグループ 及び関連の団体、個人等が日頃 の研究成果や活動状況の口頭発 表会を行った。
3	学びの収穫祭(学芸員が語る 相模原)	11/20(日)	16人	民俗分野の学芸員が「博物館の 近くにある伝説」、地質分野の学 芸員が「火山がつくった相模野 台地」のタイトルで講演した。

5 広報等その他事業

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	相模原市ホームタウンチー ム応援ミニ展示	6/2(木) ～6/30(木)	11,525人	市内に活動拠点を置くスポーツ チームの活躍について紹介。 <u>連携</u> スポーツ推進課・博物館
2	博物館de星まつり! 七夕でワッショイ!	7/1(金) ～7/7(木)	2,493人※	七夕や星に関するさまざまなイ ベントを実施。
(1)	星に願いを	7/1(金) ～7/7(木)	313枚 (短冊枚数)	短冊や七夕飾りを作って飾るこ とができる笹飾りを設置。
(2)	チェキ撮影会	7/2(土)	20組53人	七夕らしい記念撮影コーナーで チェキ撮影会を実施。
(3)	星のストラップ作り	7/3(日)	58人	ワークショップを実施し、自分 だけの星のストラップ作りを実 施。
3	アイドルマスターSideM お 仕事コラボ 「理由あって、相模原市」	7/15(金) ～8/31(水)	5,800人 (クリアカード 配布数)	「アイドルマスターSideM」の お仕事コラボキャンペーン企画 でフォトスポットの設置やプラ ネタリウムを観覧された方にク リアカードをプレゼントした。 <u>連携</u> 観光・シティプロモー ション課・博物館
4	博物館de夏まつり! 伝統的七夕でワッショイ!	8/1(月) ～8/7(日)	3,309人※	伝統的七夕や星に関するさまざ まなイベントを実施。
(1)	星に願いを	8/1(月) ～8/7(日)	209枚 (短冊枚数)	短冊や七夕飾りを作って飾るこ とができる笹飾りを設置。
(2)	チェキ撮影会	8/6(土)	20組29人	記念撮影コーナーでチェキ撮影 会を実施。
(3)	星のストラップ作り	8/7(日)	60人	ワークショップを実施し、自分 だけの星のストラップ作りを実 施。

令和4年度 相模原市立博物館 年報

5	さがみはらSDGsスタンプラリー	8/1(月) ～8/31(水)	2,694人	SDGsに関連の深い市内の施設で、ゴールの数にちなんで、17個のスタンプを集めるスタンプラリーを実施。 <u>連携</u> みんなのSDGs推進課・博物館
6	ぐるっとふちプチスタンプラリー	8/9(火) 8/10(水)	196人	淵野辺公園周辺にある4施設を巡るスタンプラリーを実施。 <u>主催</u> 文化事業等連絡協議会(JAXA・国立映画アーカイブ・国民生活センター・相模原市)
7	JAXA相模原キャンパス特別公開 「スタンプラリー」	10/22(土)	907人	JAXA相模原キャンパス特別公開の一環として実施。 <u>主催</u> JAXA <u>共催</u> 博物館・相模原市・(公財)宇宙科学振興会
8	JAXA相模原キャンパス特別公開 「クラウドファンディング参加者向け座談会」	10/22(土)	35人	JAXA相模原キャンパス特別公開の一環として実施。 <u>主催</u> JAXA <u>共催</u> 博物館・相模原市・(公財)宇宙科学振興会
9	JAXA相模原キャンパス特別公開 「銀河連邦フォーラム」	10/22(土)	94人	JAXA相模原キャンパス特別公開の一環として実施。 <u>主催</u> 銀河連邦サガミハラ共和国(相模原市) <u>共催</u> 博物館
10	「はやぶさ2」カプセル帰還2周年記念イベント 「はやぶさ2フォトスポット」	12/6(火) ～12/11(日)	1,936人※	「はやぶさ2」カプセル帰還2周年を記念して、自由に撮影可能な「はやぶさ2」のタペストリーを設置。
11	「はやぶさ2」カプセル帰還2周年記念イベント 「はやぶさ2チェキ撮影会」	12/11(日)	11組27人	「はやぶさ2」カプセル帰還2周年を記念して、「はやぶさ2フォトスポット」でチェキ撮影会を実施。
12	プラネタリウム クリスマスほしぞらコンサート	12/17(土)	211人	プラネタリウムで星空を見上げながら、クリスマス音楽等の生演奏を行う特別プログラムを開催。
13	博物館×市民会館 プラネタリウムウィンターコンサート	R5/1/25(水)	211人	市民会館開催のランチタイムコンサートに出演している演奏者による特別プログラムを開催。 <u>主催</u> 博物館・市民会館
14	古民家でおひな様 春のおでかけスタンプラリー2023	2/11(土・祝) ～3/5(日)	9,703人※ (博物館+吉野宿ふじや)	博物館、吉野宿ふじや、古民家園、小原宿本陣、相模田名民家資料館の5施設でのスタンプラリー。 <u>連携</u> 博物館・文化財保護課

15	NHK大河ドラマ等身大パネル展示	2/15(水) ～2/26(日)	5,139人※	ミニ展示「相模原にもあった!?徳川家康ゆかりの地」の開催中に、大河ドラマ「どうする家康」出演者等身大パネルを展示。 主催 NHK横浜放送局 共催 博物館
16	ピンクの星のストラップを作っちゃお! ～さがみはらピンクシャツウィークに参加しよう～	2/23(木・祝)	60人	さがみはらピンクシャツウィーク(2/19～25)の実施に合わせ、啓発活動としてピンク色の星のストラップ作りを実施。 協力 市民学芸員
17	アイドルマスターミリオンライブ!×相模原市コラボキャンペーン	2/23(木・祝) ～3/12(日)	7,079人※	「アイドルマスターミリオンライブ!」とのコラボキャンペーンで、ミュージアムショップで500円以上購入された方にコラボカードをプレゼントした。 連携 観光・シティプロモーション課・博物館

※期間中の入館者数

6 プラネタリウム・全天周映画

(1) 投影等開始時間

平日(火～金(特別上映期間を除く))

午後 2時30分・午後4時

土・日・祝日及び特別上映期間

午前10時30分・午後1時・午後2時30分・午後4時

(2) 一般投影

星空さんぽ

内 容 解説員による季節の星空解説と各月入替えのミニテーマで構成(所要約40分)

春

4月「南十字星」

5月「春の銀河」

夏

6月「『はやぶさ』と『はやぶさ2』の成果」

7月「七夕」

8月「小型月着陸実証機SLIM」

秋

9月「お月見」

10月「皆既月食」

11月「古代エジプトと星」

冬

12月「クリスマス」

1月(令和5年)「ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡」

2月(令和5年)「カノーパス」

3月(令和5年)「メシエ天体」

こどもプラネタリウム

ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成（所要約40分）

- イ 番 組 ①プラネタリウムで宇宙たんけん！（春）～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
3月5日（土）～5月29日（日）
②プラネタリウムで宇宙たんけん！（夏）～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
6月4日（土）～8月28日（日）
③プラネタリウムで宇宙たんけん！（秋）～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
9月3日（土）～11月27日（日）
④プラネタリウムで宇宙たんけん！（冬）～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
12月3日（土）～令和5年2月26日（日）
⑤プラネタリウムで宇宙たんけん！（春）～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
令和5年3月4日（土）～

全天周映画

ア 内 容 大型映像の全天周映画作品を上映

- イ 番 組 ①イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?!
（同時上映「まくまくんの星空大冒険」）
4月1日（金）～4月6日（水）
②HAYABUSA 2～REBORN 帰還バージョン
4月1日（金）～4月6日（水）
③迷宮のプラネタリウム
（同時上映「まくまくんの星空大冒険」）
4月7日（木）～9月30日（金）
④秘密結社鷹の爪 ブラブラ！ブラックホールのナゾ
（同時上映「まくまくんの星空大冒険」）
4月9日（土）～9月25日（日）
⑤ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～
（同時上映「まくまくんの星空大冒険」）
10月1日（土）～令和5年3月31日（金）
⑥富士の星暦
10月1日（土）～令和5年3月31日（金）

（3）プラネタリウム特別上映

ア 内 容 学校の春・夏・冬休みの時期は、特別上映期間として毎日4回投影・上映した。
また、「はやぶさWEEK」及び「「はやぶさ2」カプセル帰還2周年記念イベント」期間は、「はやぶさ」・「はやぶさ2」関連の全天周映画を期間限定で上映した。

- ①春休み特別上映期間
4月1日（金）～4月6日（水）、
令和5年3月23日（木）～3月31日（金）
②夏休み特別上映期間
7月21日（木）～8月28日（日）
③冬休み特別上映期間
12月23日（金）～令和5年1月6日（金）
④はやぶさWEEK
HAYABUSA 2～REBORN 帰還バージョン
HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョンDC版
6月11日（土）～6月19日（日）
⑤「はやぶさ2」カプセル帰還2周年記念イベント
HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョンDC版
12月6日（火）～12月11日（日）

(4) おためしタイム(無料)

ア 内 容 日曜日・祝日の正午から「おためしタイム」として無料で約10分間の番組を投影

※委託業者による提案事業

イ 実施日 日曜日・祝日

ウ 参加者 延べ 2,664人(計66回投影)

(5) 学習投影

ア 内 容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

イ 番 組 小中学校向け「今晚の星空」

「空を見上げて(夏・冬)」

「宇宙への旅」

幼児向け 「今晚の星空」

「リーベルタース天文台だより」(春・夏・秋・冬)

「ピーターパンのぼうけん」

「ピーターパンとほしのくにへいこう！」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回投影

(6) 広報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し館内に掲示した。また、淵野辺駅に掲示する他、博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載した。

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展（特別展示）のポスター・パンフレット等
※ポスター一覧は54頁参照
- イ 相模原市立博物館イベントニュース
(4-5月号・6-7月号・7月号・8月号・9月号・10月号・11月号・12月号・1月号・2月号・3月号・特別号)
- ウ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- エ 相模原市立博物館研究報告 第31集

(2) 有償刊行物一覧（令和5年3月31日現在）

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 393,800 円

①博物館

図録・報告書等売上

合計 358冊 60,690 円

ア 特別展・企画展図録等

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7. 11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8. 2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	H 8. 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8. 11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	H 9. 7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	H 9. 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10. 9	完売
水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	H 11. 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11. 10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	H 12. 7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	H 12. 10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	H 13. 7	14
“道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	H 13. 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14. 7	3
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	H 15. 7	1
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16. 7	0
相模原－その開発と変貌－	¥800	H 16. 10	9
地球46億年	¥900	H 17. 7	6
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18. 10	完売
合 計		¥24,900	33

イ 報告書等

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第7集 1999	¥850	H 10. 3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	H 11. 3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	H 12. 3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	H 13. 3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	H 14. 3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	H 15. 3	0
研究報告第13集 2004	¥900	H 16. 3	0
研究報告第14集 2005	¥900	H 17. 3	0
研究報告第15集 2006	¥1,050	H 18. 3	0
研究報告第16集 2007	¥1,150	H 19. 3	0
研究報告第17集 2008	¥1,150	H 20. 3	0
研究報告第18集 2009	¥700	H 21. 3	3
研究報告第19集 2010	配布のみ	H 22. 3	-

令和4年度 相模原市立博物館 年報

研究報告第20集 2012	配布のみ	H	24.3	-
研究報告第21集 2013	配布のみ	H	25.3	-
研究報告第22集 2014	配布のみ	H	26.3	-
研究報告第23集 2015	配布のみ	H	27.3	-
研究報告第24集 2016	配布のみ	H	28.3	-
研究報告第25集 2017	配布のみ	H	29.3	-
研究報告第26集 2018	配布のみ	H	30.3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H	10.3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H	12.3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H	13.3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H	14.3	1
資料目録4 テフラ標本目録	¥850	H	15.3	1
資料目録5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	H	15.3	0
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H	17.3	0
博物館所蔵古文書目録	¥900	H	17.3	0
境川流域民俗調査報告書	¥500	H	17.3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H	20.3	1
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H	21.5	11
大日野原遺跡資料調査報告書	¥720	H	31.3	3
津久井城跡資料調査報告書	¥1,820	R	2.3	3
合 計			¥14,850	23

ウ 展示解説書

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H 8.11	完売

エ 相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード

絵 葉 書 名	販売価格	発行年月	売上数量
ポストカード（相模原市立博物館）	¥30	R 2.11	21
ポストカード（相模原市緑区青野原上空からみた道志川）	¥30	R 2.11	9
ポストカード（相模津久井城図 但古城）	¥30	R 2.11	12
ポストカード（毛羽取機）	¥30	R 2.11	3
ポストカード（エナガの巣立ちビナ）	¥30	R 2.11	57
ポストカード（勝坂式土器）	¥30	R 2.11	31
ポストカード（相模原市立博物館プラネタリウム）	¥30	R 2.11	103
ポストカード（7枚セット）	¥210	R 2.11	66
合 計			¥20,940 302
合 計			¥60,690 358

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 161冊 333,110 円

ア 相模原市史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史 第1巻（中世以前通史）	¥2,300	S 39.11	2
相模原市史 第2巻（近世通史）	¥3,400	S 42.3	2
相模原市史 第3巻（近代通史）	¥2,800	S 44.2	4
相模原市史 第4巻（現代通史）	¥3,200	S 46.3	1
相模原市史 第5巻（中世・近世資料集）	¥4,500	S 40.11	2
相模原市史 第6巻（近代資料集）	¥3,200	S 43.2	2
相模原市史 第7巻（別編）	¥1,900	S 47.3	0
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16.11	8
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20.3	2
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21.5	1

令和4年度 相模原市立博物館 年報

相模原市史	民俗編	¥2,550	H 22 . 3	5
相模原市史	民俗編DVD版	¥1,550	H 22 . 3	3
相模原市史	現代通史編	¥2,100	H 23 . 3	4
相模原市史	考古編	¥2,650	H 24 . 3	12
相模原市史	現代テーマ編	¥2,310	H 26 . 3	11
相模原市史	文化遺産編	¥3,060	H 27 . 3	3
相模原市史	近代資料編	¥3,240	H 29 . 5	2
相模原市史	別編	¥1,690	H 30 . 2	0
相模原市史	別編CD版	¥920	H 30 . 2	1
相模原市史ノート	創刊号	¥350	H 16 . 3	4
相模原市史ノート	第2号	¥700	H 17 . 3	3
相模原市史ノート	第3号	¥600	H 18 . 3	0
相模原市史ノート	第4号	¥600	H 19 . 3	1
相模原市史ノート	第5号	¥600	H 20 . 3	0
相模原市史ノート	第6号	¥700	H 21 . 3	2
相模原市史ノート	第7号	¥700	H 22 . 3	1
相模原市史ノート	第8号	¥650	H 23 . 3	1
相模原市史ノート	第9号	¥700	H 24 . 3	0
相模原市史ノート	第10号	¥700	H 25 . 3	4
相模原市史ノート	第11号	¥700	H 26 . 3	2
相模原市史ノート	第12号	¥700	H 27 . 3	2
相模原市史ノート	第13号	¥700	H 28 . 3	3
相模原市史ノート	第14号	¥720	H 29 . 3	2
相模原市史ノート	第15号	¥760	H 30 . 3	4
相模原市史調査報告書1	旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	3
相模原市史調査報告書2	動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	完売
相模原市史調査報告書3	相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書4	相模原市地域の第4紀地史研究のための指標テフラ（火山灰）	¥2,300	H 21 . 3	2
相模原市史調査報告書5	縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書6	勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	3
相模原市史調査報告書7	当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	5
合 計			¥202,470	108

イ 城山町史

書 名		販売価格	発行年月	売上冊数
城山町史1	資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	0
城山町史2	資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	0
城山町史3	資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	0
城山町史4	資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	0
城山町史5	通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	0
城山町史6	通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	0
城山町史7	通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	0
城山風土記1	近現代編	¥600	H 3 . 3	0
城山風土記2	近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	2
城山風土記3	九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	0
城山風土記4	歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	1
城山風土記5	町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	1
城山町史資料所在目録	近世文書	¥3,600	S 60 . 3	0
城山町史資料所在目録	近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61 . 12	0
城山町史新聞記事目録		¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓（復刻版）		¥1,100	H 18 . 3	2
合 計			¥4,800	6

ウ 津久井町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史 資料編 近世1	¥2,000	H 16 . 3	0
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	2
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	1
津久井町史 資料編 近世2	¥3,550	H 23 . 3	0
津久井町史 自然編	¥3,690	H 25 . 3	0
津久井町史 通史編 近世・近代・現代	¥2,720	H 26 . 3	3
津久井町史 通史編 原始・古代・中世	¥2,620	H 28 . 3	7
津久井町史 文化遺産編	¥4,060	H 30 . 3	4
ふるさと津久井 第1号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井 第2号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井 第3号 (特別号) 津久井の古地図	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井 第4号 特集 養蚕と織物 (1)	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井 第5号 特集 養蚕と織物 (2)	¥750	H 24 . 3	7
ふるさと津久井 第6号	¥820	H 26 . 3	4
ふるさと津久井 第7号	¥790	H 29 . 3	5
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	H 16 . 3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	H 20 . 3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」	¥720	H 25 . 2	1
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」	¥1,840	H 25 . 2	0
津久井町史資料目録 公文書1	¥2,300	H 22 . 3	0
津久井町史資料目録 公文書2	¥1,700	H 24 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告1	¥1,850	H 22 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告2	¥1,850	H 22 . 3	0
合 計		¥68,090	36

エ 相模湖町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史 歴史編	¥14,000	H 13 . 3	3
相模湖町史 民俗編	¥5,600	H 19 . 2	0
相模湖町史 自然編	¥11,550	H 20 . 2	1
合 計		¥53,550	4

オ 藤野町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史 資料編上	¥3,000	H 6 . 3	0
藤野町史 資料編下	¥3,000	H 6 . 3	0
藤野町史 通史編	¥4,000	H 7 . 3	0
ふじの町史 研究誌 (第1号)	¥600	H 2 . 3	完売
ふじの町史 研究誌 (第2号)		H 4 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第3号)	¥600	H 5 . 3	3
ふじの町史 研究誌 (第4号)		H 6 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第5号)	¥600	H 8 . 3	4
合 計		¥4,200	7

(3) 広報活動

ア ポスター・チラシ掲示

前述の各ポスター・チラシを市各機関・近隣博物館・相模大野パブリックインフォメーション所管課等へ送付し、掲示・配架を依頼するとともに、淵野辺駅等に掲示した。

イ 記事提供

広報さがみはらや相模原記者クラブなどの新聞・雑誌・タウン紙等のメディアイベント情報を提供した。また、タウン紙「タウンニュース」中央区版のシリーズ「博物館の資料から相模原を学ぶ」に学芸員が資料紹介の寄稿を行った。

ウ 放送番組

NHK、J:COM、FM HOT 839など、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。また、FM HOT 839レギュラー枠「博物館探検隊」に出演した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、国立歴史民俗博物館津久井湖城山公園に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどによる発信

各種事業のPRや周知を博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどにより広く発信した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、8月2日（火）～9月18日（日）の内、実質9日間に16大学から延べ19人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

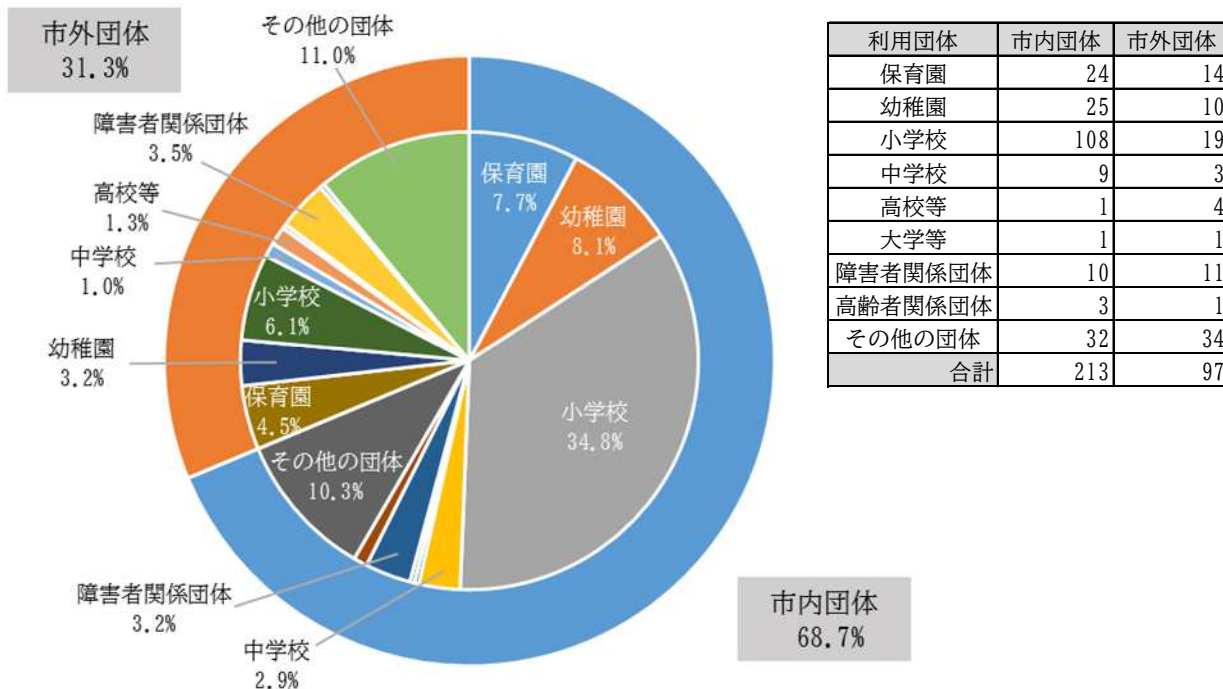
分野	大 学	人 数	分野	大 学	人 数
考古	駒澤大学	1	生物	東京大学大学院	1
	大正大学	1		北里大学	1
	東京工芸大学	1		東京都立大	1
	帝京大学	1	地質	東京都立大学	1
	都留文科大学	1		帝京科学大学	1
	桜美林大学	1		東京都立大学大学院	1
民俗	成城大学	1		青山学院大学	1
	青山学院大学	1	天文	工学院大	1
	東京工業大学	1		東京農業大学	1
				東海大学	1

9 団体利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム貸切投影、展示学習）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4月	2	16	8月	24	535	12月	21	1,077
5月	20	1,252	9月	21	911	1月	25	1,789
6月	46	2,756	10月	29	1,577	2月	21	1,469
7月	29	1,107	11月	53	3,165	3月	19	755
						年計	310	16,409

団体利用内訳



10 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用

市内小中学校からの依頼により、学校教材用に博物館資料の貸出しを行った。

(主な貸出しキット)

- ・糸車
- ・昭和ってすごい時代体感キット
- ・炭火アイロン
- ・湯たんぽ
- ・電気アイロン
- ・火のし
- ・縄文体験キット
- ・火縄銃

学年	件数
小学校1年	2
小学校2年	0
小学校3年	2
小学校4年	0
小学校5年	0
小学校6年	1
中学校1年	0
中学校2年	1
中学校3年	0
合計	6

11 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し

博物館ボランティアの「市民学芸員」が7年かけて企画・検討を重ね、手作りで平成29年度に完成した「いろはかるた」。市内緑区から南区まで47ヶ所の名所・旧跡などを紹介したもので、絵札、読み札の他、解説文（日本語、英語）、紹介地マップもついている。

また、貸出し分（30組、期間は原則1ヶ月以内）を博物館内の掲示やホームページ、職員ブログでPRを行ったほか、博物館の学習資料展で紹介した。

(1) 制作

相模原市立博物館ボランティア「市民学芸員」

(2) 貸出し件数

学校、公民館など19件83組

1.2 ネットで楽しむ博物館

動画配信サイトYouTubeの「相模原市立博物館公式チャンネル」を用いて、博物館ホームページの「ネットで楽しむ博物館」で動画配信を行った。

	タイトル	視聴回数※1
1	相模原市立博物館プラネタリウム紹介(2022年春)	348回
2	相模原市立博物館プラネタリウム紹介(2022年夏)	468回
3	相模原市立博物館プラネタリウム紹介(2022年秋)	285回
4	学びの収穫祭 口頭発表① 花ごよみ調査「調査でめぐりあった愛の草花」	—※2
5	学びの収穫祭 口頭発表② 「境川を利用する鳥類の通年調査」	—※2
6	学びの収穫祭 口頭発表③ 「2019年台風19号による井戸水温の変化 相模原河成段丘の地下での豪雨の爪痕」	—※2
7	ミニ企画展「尾崎行雄(罌堂)の桜と相模原市の桜」関連事業 講演会「東京市長時代の尾崎行雄－日米友好の桜寄贈を中心に－」 ①東京市長時代の尾崎行雄	35回
	ミニ企画展「尾崎行雄(罌堂)の桜と相模原市の桜」関連事業 講演会「東京市長時代の尾崎行雄－日米友好の桜寄贈を中心に－」 ②アメリカへの桜寄贈 前編	11回
	ミニ企画展「尾崎行雄(罌堂)の桜と相模原市の桜」関連事業 講演会「東京市長時代の尾崎行雄－日米友好の桜寄贈を中心に－」 ③アメリカへの桜寄贈 後編	9回
8	JAXA宇宙科学研究所あかつき後期運用チーム×博物館「一日限りのあかつきトークライブ！」①	100回
	JAXA宇宙科学研究所あかつき後期運用チーム×博物館「一日限りのあかつきトークライブ！」②	41回
	JAXA宇宙科学研究所あかつき後期運用チーム×博物館「一日限りのあかつきトークライブ！」③	35回

※1 3月31日までの延べ視聴回数。

※2 エコパークさがみはらによる配信のリンクのため、視聴回数不明。

1.3 インターンシップ

例年相模原市役所人材育成課の依頼により受け入れていたインターンシップは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

1.4 博物館職員の講師依頼等

市内公民館、小・中学校、高校、他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した(これに類するものも記載)。

依頼件数 計72件(うち8件はオンライン)

聴講者 延べ 1,961人

	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	相模原の歴史 (新採用職員研修)	人材育成課	歴史	4/4・6	けやき会館	長澤有史
2	相模原市自然環境観察員制度第1回環境学習セミナー	環境情報センター	生物	4/16	エコパークさがみはら	秋山幸也

令和4年度 相模原市立博物館 年報

3	大野中地区の自然 奇跡の森 木もれびの森の生き物たち	大野中公民館	生物	4/16	大野中公民館(オンライン)	秋山幸也
4	自然環境観察員制度野鳥部会調査講習会	エコパークさがみはら	生物	5/7	博物館	秋山幸也
5	自然観察会指導講習	さがみはら緑の風	生物	5/14	博物館・野外	秋山幸也
6	境川流域の伝説	大野中公民館	民俗	5/21	大野中公民館(オンライン)	山本菜摘
7	青山学院大学博物館実習	青山学院大学	生物	5/22	博物館	秋山幸也 長澤有史
8	てくてくガイド勉強会&情報交換会(第二回)	上鶴間公民館	民俗	5/24	上鶴間公民館	加藤隆志
9	ホタル観察会	上溝南高校	生物	5/27	上溝南高校・田名望地	秋山幸也
10	カイコのはなし	大沢小学校	生物	6/1	大沢小学校	秋山幸也
11	カイコのはなし	新宿小学校	生物	6/1	新宿小学校	秋山幸也
12	カイコのはなし	大島小学校	生物	6/2	大島小学校	秋山幸也
13	カイコのはなし	光が丘小学校	生物	6/3	光が丘小学校	秋山幸也
14	成人学級公開講座「大山道と大山詣で」	新磯公民館	民俗	6/11	新磯公民館	加藤隆志
15	勝坂を学ぼう!「勝坂遺跡の今~これまでにわかってきた事と勝坂遺跡の可能性~」	文化財保護課	考古	6/12	史跡勝坂遺跡公園管理棟	河本雅人
16	桜美林大学博物館見学実習	桜美林大学	全般	6/18	博物館	秋山幸也
17	相模原市の遺跡~大野中周辺の旧石器・縄文時代~	大野中公民館	考古	6/18	大野中公民館(オンライン)	長澤有史
18	青山学院大学鳥類学実習	青山学院大学	生物	6/25	博物館	秋山幸也
19	相原の遺跡	相原公民館・相原の歴史をさぐる会	考古	7/2	相原公民館	長澤有史
20	麻布大学野外動物学実習	麻布大学獣医学部動物応用学科	生物	7/2	博物館・留保地	秋山幸也
21	玉川大学博物館資料保存論見学実習	玉川大学教育博物館	全般	7/3	博物館	秋山幸也 河尻清和
22	歴史講座「上鶴間の歴史をさぐる~江戸から明治へ~」	上鶴間公民館	民俗	7/3	上鶴間公民館	加藤隆志
23	開発の町相模原	ユニコムプラザさがみはら	民俗	7/9	ユニコムプラザさがみはら	加藤隆志
24	公民館でプラネタリウムを体験してみよう!	相原公民館	天文	7/16	相原公民館	里見聡一
25	身近な気象と観天望気	大野中公民館	天文	7/16	大野中公民館(オンライン)	田子智大

令和4年度 相模原市立博物館 年報

26	てくてくガイド勉強会&情報交換会(第三回)	上鶴間公民館	民俗	7/26	上鶴間公民館	加藤隆志
27	セミの羽化観察会	大野南公民館	生物	7/30	麻溝公園	秋山幸也
28	セミの羽化観察会	OSジュニア	生物	8/7	鵜野森公園	秋山幸也
29	大野中地区の石仏	大野中公民館	民俗	8/20	大野中公民館(オンライン)	加藤隆志
30	前期集中講義「地学実験」	東京電機大学	地質	8/24	東京電機大学東京千住キャンパス	河尻清和
31	てくてくガイド勉強会&情報交換会(第四回)	上鶴間公民館	民俗	8/30	上鶴間公民館	加藤隆志
32	相模原市文化財調査・普及員・考古班活動	相模原市文化財調査・普及員	考古	9/8	博物館	長澤有史
33	横山小学校 3年生総合「横山小の生物に親しもう！」	横山小学校	生物	9/14	横山小学校	秋山幸也
34	大沼けやき学級	大沼公民館	生物	9/15	大沼公民館	秋山幸也
35	植物の調べ方 図鑑と仲良しになろう	県立津久井湖城山公園	生物	9/17	津久井湖城山公園	秋山幸也
36	相模原と月	大野中公民館	天文	9/17	大野中公民館(オンライン)	里見聡一
37	自然観察会指導講習	さがみはら緑の風	生物	10/8	博物館・野外	秋山幸也
38	川原石のふしぎ	文化財保護課	地質	10/8	旧石器ハテナ館・相模川川原	河尻清和
39	橋本の歴史を知る会 博物館研修会	橋本の歴史を知る会	全般	10/12	博物館	河尻清和 加藤隆志 長澤有史
40	北里大学博物館実習	北里大学海洋生命科学部	生物	10/15	博物館ほか	秋山幸也
41	TBS「四季折々の贈りもの」	(株)TBSスパークル	生物	10/16	博物館・野外	秋山幸也
42	歴史講座～星が丘から見た相模原ヒストリア～	星が丘公民館	民俗	11/6	星が丘公民館	加藤隆志
43	身近だからオモシロイ 家や学校のまわりの生物多様性	上溝・緑PTA地区ブロック	生物	11/9	陽光台小・博物館(オンライン)	秋山幸也
44	危険な生物と生物多様性(生涯学習まちかど講座)	県立津久井高校	生物	11/10	県立津久井高校	秋山幸也
45	職業講話	旭中学校	考古	11/25	旭中学校	長澤有史
46	運営委員会学習会「道保川公園のホタルについて」	上溝みらい創生委員会	生物	11/25	上溝公民館	秋山幸也
47	博物館施設見学	上溝中学校	全般	11/18	博物館	長澤有史
48	鹿島台小創立50周年記念講演会	鹿島台小PTA	生物	11/19	鹿島台小学校	秋山幸也

令和4年度 相模原市立博物館 年報

49	下溝遺跡群について	相陽中学校	考古	11/29	麻溝まちづくりセンター	長澤有史
50	職業講話学習	座間市立相模中学校	生物	12/1	座間市立相模中学校	秋山幸也
51	歴史探訪講座	若竹園	民俗	12/2	若竹園	山本菜摘
52	田名公民館高齢者学級	田名公民館	考古	12/9	田名公民館	長澤有史
53	さがみはら生物多様性ネットワーク事業	水みどり環境課	生物	12/11	博物館	秋山幸也
54	考古学特別講座	光明学園相模原高等学校	考古	12/14	光明学園相模原高等学校	長澤有史
55	4学年理科オンライン授業	上海日本人学校	天文	12/22	博物館(オンライン)	里見聡一
56	令和4年度相模原市自然環境観察員制度野鳥観察会	エコパークさがみはら	生物	1/9	境川(町田～古淵)	秋山幸也
57	鳥のおはなし	大野村いつきの保育園	生物	1/11	大野村いつきの保育園	秋山幸也
58	キッズわくわくワーク	(株)アミカル	生物 歴史	1/15	古淵ハウジングステージ	秋山幸也 眞壁ゆい
59	勝坂を学ぼう!「冬の里山でバードウォッチング」	文化財保護課	生物	1/15	史跡勝坂遺跡公園周辺・管理棟	秋山幸也
60	相模原市自然環境観察員制度野鳥調査(越冬期1)	エコパークさがみはら	生物	1/22	県立公園相模原公園相模原沈殿池	秋山幸也
61	城山エコミュージアムのつどい	城山公民館	民俗	2/12	城山公民館	加藤隆志
62	篠原の里・勉強会	篠原の里	地質	2/12	篠原の里・篠原川周辺	河尻清和
63	日本地質学会関東支部主催巡検	日本地質学会関東支部	地質	2/19	相模原市南区下溝周辺地域	河尻清和
64	令和4年度相模原市自然環境観察員制度野鳥観察会	エコパークさがみはら	生物	2/23	相模川(相武台下～三段の滝展望公園)	秋山幸也
65	岩石採集	相模川自然の村野外体験教室	地質	2/23	相模川自然の村野外体験教室	河尻清和
66	令和4年度第7回考古学講座	県教育委員会	考古	2/25	かながわ県民センター	長澤有史
67	歴史講座「養蚕の展開と人々の暮らし」	大野北公民館市立図書館	民俗	2/26	大野北公民館	加藤隆志
68	「相模原の台地は富士山と相模川がつくった!～光明学園周辺の大地のなりたち～」	光明学園相模原高等学校	地質	3/8	光明学園相模原高等学校生物室・学校周辺	河尻清和
69	勝坂を学ぼう!「縄文ムラの地形を観察しよう」	文化財保護課	地質	3/12	史跡勝坂遺跡公園周辺・管理棟	河尻清和
70	相模原を知ろう	生涯学習センター	民俗	3/14	中和田自治会館	加藤隆志
71	道具の移り変わり出前授業	相武台小学校	民俗	3/14	相武台小学校	山本菜摘

72	石のおはなし	ひよこ第三保育園	地質	3/15	ひよこ第三保育園	河尻清和
----	--------	----------	----	------	----------	------

15 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

JAXA相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーを再開した。

	分野	事業名
1	地質	相模川の川原の石 ※R3からの継続事業
2	民俗	民俗資料展示(ガリ版印刷機) ※R5までの継続事業

16 市民との協働

	名称	登録者	参加者	内容
1	市民学芸員	45人	延べ761人	学習資料展の企画・準備等を実施した。また、有志により市民学芸員かわら版作成などを行った。
2	相模原植物調査会	58人	延べ72人	市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。
3	相模原地質研究会	14人	延べ86人	博物館周辺の地形調査を行った。企画展の準備作業を行った。
4	相模原縄文研究会	13人	延べ129人	寄贈された考古資料の整理を行った。
5	民俗調査会	27人	延べ129人	近世の村など、テーマを定めて市内外のフィールドワークを行い、地域のさまざまな文化遺産や民俗を見学した。
6	水曜会	20人	延べ180人	旧津久井郷土資料室に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を行った。
7	相模原市立博物館天文クラブ	15人	延べ81人	博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。
8	福の会	5人	延べ142人	寄贈された竹細工道具等の整理を行ったほか、収蔵庫や民俗関係の常設展示室の清掃作業などを実施した。また、資料整理の成果として展示を行った。

令和4年度 相模原市立博物館 年報

9	相模原動物標本クラブ	21人	延べ15人	博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。
10	相模原水生動物調査会	20人	延べ20人	市域を中心とした水域で水生動物調査を行い、室内で同定学習会などを実施した。

IV 資料管理

1 博物館収蔵資料点数

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分野	分類	保管場所	収蔵点数 (R5.3.31現在)	単位
考古	考古資料	考古資料収蔵庫	6,670	箱
		自然・歴史展示室	898	点
		他館等長期貸出資料	676	点
	分野 計		8,244	箱/点
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,798	点
		生活資料収蔵庫	1,215	点
		特別収蔵庫	67,399	点
		フィルム収蔵庫	5	点
		自然・歴史展示室	126	点
	軍事資料	古文書収蔵庫	23	点
		生活資料収蔵庫	1,659	点
		自然・歴史展示室	34	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く)	古文書収蔵庫	3,322	点
		特別収蔵庫	21,742	点
		市史編さん室	797	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	点
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点
	分野 計		108,143	点
民俗	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫 大型資料収蔵庫	23,150	点
		自然・歴史展示室	141	点
		他館等長期貸出資料	36	点
	分野 計		23,327	点
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	270	点
		自然・歴史展示室	50	点
	岩石・鉱物資料等	地質資料収蔵庫等	4,251	点
		自然・歴史展示室	34	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	7,096	点
		自然・歴史展示室	12	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	204	点
	砂礫等資料	地質資料収蔵庫等	741	点
		自然・歴史展示室	5	点
	剥ぎ取り資料	地質資料収蔵庫等	49	点
		自然・歴史展示室	4	点
	分野 計		12,716	点

令和4年度 相模原市立博物館 年報

動 物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点
		自然・歴史展示室	16	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	39,151	点
		自然・歴史展示室	18	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	2,891	点
		自然・歴史展示室	14	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	201	点
		自然・歴史展示室	40	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	30	点
		自然・歴史展示室	4	点
分野 計		42,405	点	
植 物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	57,055	点
		自然・歴史展示室	21	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点
	分野 計		57,082	点
天 文	天文資料	フィルム収蔵庫	2,028	点
		特別収蔵庫	0	点
		天文展示室等	25	点
	分野 計		2,053	点
合 計			253,970	箱/点

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (R5.3.31現在)	単位
美 術 品	絵画	美術品収蔵庫	418	点
	書	美術品収蔵庫	56	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,112	点
合 計			2,588	点

館内収蔵市史資料

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (R5.3.31現在)	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	点

令和4年度 相模原市立博物館 年報

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数 (R5.3.31現在)	単位
考古	考古資料	藤野第2資料保管庫	411	箱
		城山郷土資料保管庫	309	箱
		吉野宿ふじや	75	点
	分野 計		795	箱/点
歴史	歴史資料	尾崎号堂記念館	4,078	点
		小原本陣・小原の郷	254	点
		城山郷土資料保管庫	0	箱
		吉野宿ふじや	669	点
	分野 計		5,001	点/箱
民俗		小原本陣・小原の郷	401	点
		城山郷土資料保管庫	850	点
		吉野宿ふじや	1,470	点
	分野 計		2,721	点
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点
合 計			8,632	箱/点

博物館関係施設別一覧

施 設	分 野	分 類	収蔵点数 (R5.3.31現在)	単位
藤野第2資料保管庫	考古	考古資料	411	箱
尾崎号堂記念館	歴史	歴史資料	4078	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点
	施設 計		655	箱/点
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	309	箱
	歴史	歴史資料	0	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	点
	施設 計		1159	箱/点
吉野宿ふじや	考古	考古資料	75	点
	歴史	歴史資料	669	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1470	点
	動物	昆虫類	115	点
	施設 計		2329	点
合 計			8,632	箱/点

2 収集・整理

分野	内 容
考古	発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び再整理、寄贈考古資料の整理作業、鉄製品の保存処理
歴史	寄贈・寄託(予定含む)歴史資料の分類整理、尾崎行雄(弔堂)関係資料の分類整理、津久井郷土資料室旧蔵資料の整理
民俗	民俗資料の収集、収蔵資料のカード・収蔵番号の整備、旧津久井郷土資料室所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天体・天文現象・太陽の撮影やデータの整理 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集

3 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒュームS）を用いた定期的なくん蒸を、洗浄・乾燥室において2回、受入れ資料を対象に、被覆法により実施した。周辺環境に配慮し、排気中のガス濃度が0 p p mになるよう活性炭吸着排気を行った。

(2) 有害生物調査

7月～10月、収蔵庫及び作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

4 資料の特別利用

利用総件数92件（令和4年度中に利用申請されたもの）＜申請日順＞

	申請者	利用区分	利用目的	利用期間	分野	利用資料
1	神奈川県立歴史博物館	閲覧	調査研究	4/9	民俗	相模原市構想鳥瞰図
2	個人	撮影	調査研究	4/9	歴史	上相原村小川忠久家文書ほか
3	個人	撮影・閲覧	調査研究	4/29	考古	田名塩田遺跡群A区出土土器
4	個人	撮影・閲覧	調査研究	5/25	考古	勝坂遺跡有鹿谷遺跡出土品
5	県立歴史博物館	館外貸出し	展示	5/17 ～10/9	民俗	相模原市構想鳥瞰図ほか
6	市文化財保護課	閲覧	調査研究	4/22	考古	田名花ヶ谷戸遺跡出土土器
7	個人	撮影	調査研究	4/24	歴史	上相原村小川忠久家文書ほか
8	個人	閲覧	調査研究	4/30	歴史	記(瓦代子請取)ほか
9	個人	閲覧 館外貸出し	調査研究	5/3 ～6/30	市史	市史第2・3・4巻使用写真 広報広聴課所蔵写真ほか
10	個人	撮影・HP掲載	説明資料	5/26～	考古	田名向原遺跡出土土器、谷原12号墳などの展示状況
11	個人	閲覧・撮影	調査研究	5/24	民俗	市発行三千分の一地形図四点
12	個人	閲覧	調査研究	5/27	歴史	『多摩』ほか(津久井郷土資料室資料)
13	学校法人横浜雙葉学園	写真データ利用	出版掲載	6/6～	歴史	横浜一般病院絵葉書(津久井郷土資料室資料)
14	市内内出中学校	閲覧・撮影	教材利用	6/8	歴史	迅速測図(明治15年上溝村・橋本村)ほか1点
15	県立総合教育センター	出版・HP掲載	出版掲載	3/1～	市史	二 「憲法精神普及徹底指導者講習会開催について」通知ほか(市史収蔵資料)
16	個人	閲覧	調査研究	6/14	歴史	『土俗趣味 土の香』(津久井郷土資料室資料)

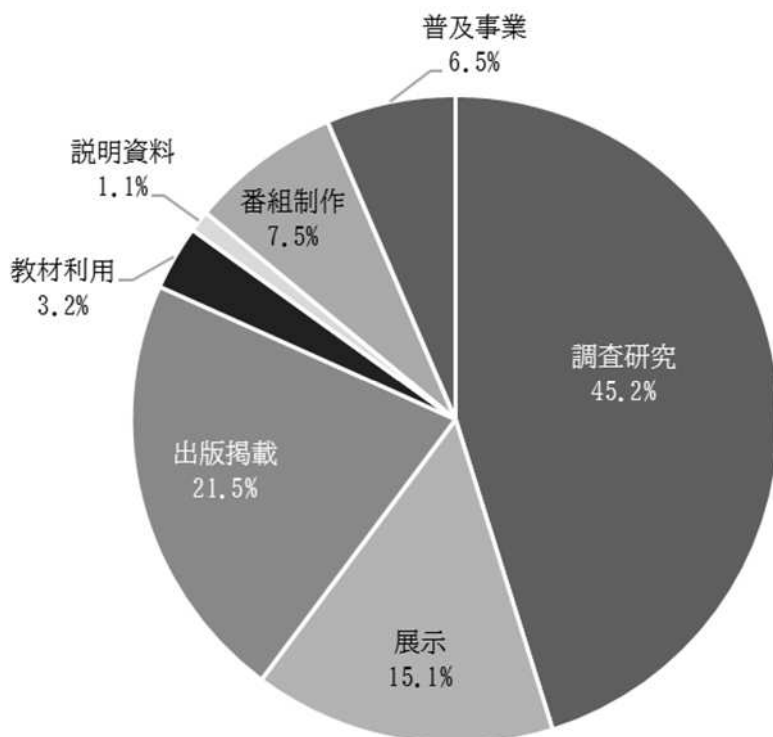
令和4年度 相模原市立博物館 年報

17	県立生命の星・地球博物館	館外貸出し	展示	6/23 ～11/18	地質	陽原面段丘礫ほか
18	㈱B E G I N	写真データ利用	番組制作	7/4	民俗	養蚕農家写真ほか
19	市文化財保護課	資料閲覧	調査研究	6/25	考古	土師器(下森鹿島遺跡、中村遺跡第7地点、矢掛久保遺跡)
20	厚木市文化財保護課	資料借用	展示	7/13～9/30	考古	大日野原遺跡出土人体文土器 寺原遺跡出土線刻画土器 田名花ヶ谷戸遺跡出土土偶 橋本遺跡出土土偶
21	個人	撮影 模写(図面作成)	調査研究	7/8	考古	田名塩田遺跡群A区出土土器
22	個人	閲覧	調査研究	7/1	歴史	戸田美紀子氏寄託資料ほか(尾崎穹堂関係)
23	市文化財保護課	資料閲覧	普及事業	7/5	考古	中村遺跡発掘調査ボジフィルム
24	個人	閲覧・撮影	調査研究	7/6	歴史	『都会及農村』ほか(津久井郷土資料室資料)
25	市立公文書館	館外貸出し	展示	7/22～9/30	歴史	東本願寺鳥屋村樺材伐採関係書ほか
26	個人	閲覧	調査研究	7/22	歴史	大山敬慎講社定休泊所内則ほか
27	ロマンスカーミュージアム	パネルデータ利用	展示	7/27 ～8/22	天文	小惑星リュウグウサンプルレプリカ展示パネル
28	県立津久井湖城山公園	写真データ利用	出版掲載	8/1～	考古	津久井城跡資料調査報告書掲載写真・図ほか
29	㈱玉川文化財研究所	写真データ利用	出版掲載	8/5～	考古	市史空撮写真(城山・相模湖方面を遠望)
30	市文化財保護課	資料閲覧	普及事業	9/1	考古	中村遺跡発掘調査写真8点
31	個人	閲覧	調査研究	7/27	歴史	津久井の織物(津久井郷土資料室資料)
32	個人	閲覧	調査研究	8/5	歴史	彦左衛門一条控
33	市相模湖まちづくりセンター	館外貸出し	展示	8/8 ～3/31	歴史	御小休看板
34	個人	閲覧	調査研究	8/16	歴史	上相原村「宗門人別書上帳」ほか
35	個人	閲覧	調査研究	8/19	歴史	『土俗趣味 土の香』(津久井郷土資料室資料)
36	市中央区役所区政策課	写真データ利用	出版掲載	9/5	考古	田名塩田遺跡群出土の真脇式土器ほか
37	市文化財保護課	撮影 フィルムスキャン	普及事業	9/3	考古	中村遺跡出土土師器撮影、下森鹿島遺跡調査写真スキャン
38	㈱フラジャイル	デジタルデータ利用	番組制作	9/15	生物	カエンタケデジタル写真
39	ジャンプコーポレーション	館外貸出し	番組制作	9/16 ～9/27	民俗	火のし、こて、炭火アイロンほか
40	麻溝の地域遺産を未来につなぐ会	写真データ利用	普及事業	9/28～	考古	下溝遺跡群出土の土器、土偶、発掘現場写真など
41	相模原市市民ギャラリー	写真データ利用 館外貸出し	出版掲載 展示	11/15 ～11/29	考古	嵯峨遺跡 出土土器
42	個人	写真データ利用	調査研究	9/21	民俗	内郷村調査名簿(鈴木重光『雑綴乙種自明治41～大正15』)
43	個人	閲覧	調査研究	9/23	歴史	昭和17年陸軍撮影空中写真I、II
44	市文化財保護課	写真データ利用	普及事業	9/30～	市史	友林寺鉄造聖観音菩薩立像写真ほか
45	個人	撮影	出版掲載	10/1～	歴史	旧清水家模型
46	ジャンプコーポレーション	撮影	番組制作	10/8	民俗	吉野宿ジオラマほか
47	個人	閲覧	調査研究	10/10	歴史	神奈川県撮影空中写真1954
48	個人	写真データ利用	調査研究	10/12	民俗	『故長谷川一郎先生一周忌記念文集石老の礎』
49	國學院大學文学部歴史地理学教室	館外貸出し	調査研究	10/15 ～R7/3/31	歴史	邊見家文書
50	個人	写真データ利用	調査研究	10/16	民俗	『故長谷川一郎先生一周忌記念文集石老の礎』
51	県立生命の星・地球博物館	写真データ利用	教材利用	11/3	民俗	相模原市構想鳥瞰図
52	個人	閲覧	調査研究	10/20	歴史	昭和29年相模原市都市計画図1/2万
53	(公財)相模原市まち・みどり公社 鹿沼公園	写真データ利用	教材利用	11/1～	市史	「鹿沼 1964(昭和39)年5月」ほか(市史編さん室資料)
54	市立大野南公民館	写真データ利用	出版掲載	11/3～	市史	「在日米陸軍医療センター 相模大野 1979(昭和54)年4月」ほか
55	市史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	閲覧	調査研究	11/1	考古	田名花ヶ谷戸遺跡出土資料
56	市橋本まちづくりセンター	写真データ利用	出版掲載	11/1	市史	橋本駅前風景写真
57	個人	閲覧	調査研究	11/5	市史	八木英司氏寄贈資料
58	個人	写真データ利用	普及事業	11/13	歴史	長松寺文書(足利氏満寄進状、由緒書)
59	島根大学 法文学部	写真データ利用	出版掲載	11/28～	考古	勝坂有鹿谷祭祀遺跡出土 鏡1点

令和4年度 相模原市立博物館 年報

60	柏書房	写真データ利用	出版掲載	12月	考古	土偶3点(田名花ヶ谷戸2、下原1)
61	千葉県酒々井町教育委員会	写真データ利用	出版掲載	12/5	考古	津久井城跡御屋敷曲輪 遺構写真
62	国立歴史民俗博物館	館外貸出し	展示	R5/4/1 ～R6/3/31	考古	田名向原遺跡出土石器
63	市文化財保護課	写真データ利用	出版掲載	12/15～	考古	田名花ヶ谷戸遺跡 調査写真
64	テレビ朝日映像㈱	写真データ利用	番組制作	12/9	地質	洞爺火山灰頭微鏡写真ほか
65	㈱ジャパネットブロードキャス ティング	写真データ利用	番組制作	12/20	民俗	「豚の品評会」写真
66	個人	閲覧・撮影	調査研究	12/15	歴史	小原宿関係資料
67	個人	写真データ利用	出版掲載	2月	考古	上中丸遺跡出土の石皿
68	個人	閲覧・撮影	調査研究	12/21	歴史	ハレー彗星絵葉書ほか(津久井郷土資料 室資料)
69	市史跡田名向原遺跡旧石器時代学 習館	写真データ利用	出版掲載	1/1～	考古	縄文時代住居の復元模型の写真
70	市史跡田名向原遺跡旧石器時代学 習館	館外貸出し	展示	1/18 ～3/22	考古	田名花ヶ谷戸遺跡出土資料
71	市立公文書館	館外貸出し	展示	1/20 ～3/28	市史	『神奈川県会史』第3巻
72	文部科学省 特別支援教育課	写真データ利用	出版掲載	1/20～	民俗	写真「洗濯板とたらい」ほか2点
73	個人	写真データ利用	出版掲載	2/13～	考古	田名塩田遺跡群A地区出土土器
74	個人	館外貸出し	調査研究	2/15 ～3/15	地質	駒ヶ岳a火山灰ほか8点
75	市文化振興課	写真データ利用	展示	2/8 ～4/10	市史	淵野辺駅周辺写真
76	市文化財保護課	館外貸出し	展示	4/1 ～3/31	考古	田名塩田遺跡群出土遺物
77	市文化財保護課	館外貸出し	展示	4/1 ～3/31	考古	勝坂遺跡出土遺物
78	個人	閲覧・撮影	調査研究	2/11	民俗	酒まんじゅう関係資料
79	個人	閲覧	調査研究	2/15 ～2/16	歴史	旧上九沢村笹野家資料ほか
80	個人	閲覧・撮影	調査研究	2/16	民俗	ムシカマド
81	個人	閲覧・撮影	調査研究	2/21	歴史	『武蔵野』ほか(津久井郷土資料室資 料)
82	(一社)橋本・めぐり報	写真データ利用	出版掲載	2/27～	市史	大型店の進出が目立つ橋本駅周辺(昭和 51年)
83	個人	閲覧・撮影	調査研究	3/4	市史	『中等国文一』教科書ほか
84	個人	閲覧・撮影	調査研究	3/5	民俗	『土の香』ほか(鈴木重光資料)
85	㈱日テレアックスオン	写真データ利用	番組制作	3/6 ～4/13	民俗	「糸取りの様子」写真
86	個人	閲覧・撮影	調査研究	3/23	考古	勝坂遺跡第45次調査 草創期土器群
87	市立大野北公民館	写真データ利用	出版掲載	3/17	考古	山王平遺跡出土土器
88	個人	閲覧・撮影	調査研究	3/17 ～3/18	歴史	1889年日記帳ほか
89	県立津久井湖城山公園	館外貸出し	展示	4/1 ～3/31	考古	津久井城跡御屋敷曲輪出土の資料
90	市文化財保護課	写真データ利用	出版掲載	3/24	民俗	友林寺鉄造聖観音菩薩立像写真ほか
91	個人	閲覧	調査研究	3/29	歴史	国土地理院1/25, 000地形図(昭 和61年厚木ほか)
92	個人	閲覧	調査研究	3/30	歴史	新吉原町入札落札売女63人書上

資料の特別利用内訳



利用目的	件数
調査研究	42
展示	14
出版掲載	20
教材利用	3
説明資料	1
番組制作	7
映像放映	0
普及事業	6
合計	93

※複数の目的がある利用があったため、合計は利用件数とは一致しない。

5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	火星探査機「のぞみ」1/1 模型	H28.6.1		エントランス
2	「はやぶさ」1/1 模型	H29.9.11		エントランス
3	大西宇宙飛行士がISSへ持ち込んだ、「はやぶさ2」と小惑星リュウグウの模型	H29.8.26		天文展示室
4	M-V5号機1/50 模型	不明		天文展示室
5	イオンエンジンμ10 模型	H30.6.8		天文展示室
6	カーボングリッド	H30.6.8		天文展示室
7	「あけぼの」1/5 模型	H30.7.21		天文展示室
8	「ひさき」熱構造モデル	R4.6.13	R4.8.29	特別展示室
9	SLIM 1/2 模型	R4.6.13	R4.8.29	特別展示室
10	SLIM着陸脚衝撃吸収材	R4.6.13	R4.8.29	特別展示室
11	MMX 1/20 模型	R4.6.13	R4.8.29	特別展示室
12	フォボス模型	R4.6.13	R4.8.29	特別展示室
13	アリアンロケット 1/20 模型	R4.6.13	R4.8.29	特別展示室

その他物品

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	ブックスタイル説明台	H9.4.1		エントランス
2	はやぶさ2のぼうけん日誌台	不明		天文展示室
3	スタンプラリー台(はやぶさ)	H30.2.2		エントランス
4	スタンプラリー台(いんせき)	H30.2.2		天文展示室
5	「はやぶさ」パネル類(3点)	H29.9.11		エントランス

V 調査研究

分野	担当者	内容と成果
考古	長澤 有史	川坂遺跡の出土品について遺物整理を行った。また新収蔵品について資料調査を行い、その成果に基づいて令和4年度に考古企画展を開催した。また、文化財保護課、神奈川県公園協会とともに津久井城跡城坂曲輪群7号曲輪の発掘調査を市民協働調査で実施した。
民俗	山本 菜摘 加藤 隆志	寄贈された竹細工道具について整理及び資料調査を行い、その成果に基づいて企画展を開催した。 収蔵資料と市内の民俗に関する写真について、再確認や整理を実施するとともに、写真に関する記事を博物館職員ブログに「写真でみる相模原」として連載した。
歴史	眞壁 ゆい	市内にある中世から近現代の歴史資料・史跡について調査し、ミニ展示やワークショップなどを開催するとともに、研究報告第31集に「博物館ボランティア『水曜会』との協働による津久井郷土資料室旧蔵資料の整理活動について」の報告を掲載した。
生物	秋山 幸也	市内の動植物相調査を実施し、その中で明らかになった市内に生育・生息する絶滅危惧生物の保全、増殖事業を近隣大学等と連携しながら実施した。また、博物館周辺の樹林地(留保地)において大学等と協力して動物生態調査を実施した。
地質	河尻 清和	相模原市内、相模川・桂川流域及び関東平野西縁部の地形地質調査を実施し、研究成果の一部は研究報告第31集で報告した。相模野台地の微地形調査は相模原地質研究会と協働で実施した。富士相模川泥流堆積物については東京都立大学との共同研究を行った。
天文	里見 聡一 田子 智大	宇宙教育普及事業を推進するため、新しい教育普及手法の検討や、プラネタリウム学習投影用プログラム(令和4年度においては特に6年生用)について、内容の研究・調整を行った。 相模原地域で見るのが難しい“カノープス(りゅうこつ座α星)”について、見える地域の調査や撮影を行っており、プラネタリウム一般向け番組「星空さんぽ」2月ミニテーマにて画像を紹介した。

・検討会委員等の派遣

全国野生生物保護活動発表大会 審査員	秋山 幸也
令和4年度愛鳥週間野生生物保護功労者表彰選考審査員	秋山 幸也
「神奈川自然誌資料第44号」編集委員	秋山 幸也
相模川水系相模川・中津川河川整備計画フォローアップ委員会委員	秋山 幸也
相模川ふれあい懇談会会長	秋山 幸也
わお！な生きものフォトコンテスト特別審査員	秋山 幸也
立川市史編集委員	加藤 隆志

VI 市史関連事業

1 収集・整理事業

市史及び津久井町史の編さんに際し収集した資料の整理作業を行うとともに、次の市史等の編さんに向けた資料の収集を行った。

2 普及事業

資料の整理・保存及び普及活動を中心に行った。

(1) 市史ミニ展示

※詳細は15・16頁Ⅲ3 (2) 2・8・13・19参照

(2) 市史・町史刊行物の販売

博物館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店で販売した。

VII 博物館所管施設

1 尾崎弔堂記念館（緑区又野）



外観



展示室

尾崎弔堂記念館は、「議会政治の父」といわれた尾崎行雄（弔堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和32年1月に、「尾崎弔堂うまれ地記念事業委員会」によって建設され開館した。

昭和33年度に旧津久井町に寄贈され、平成2年に「ふるさと創生事業」にて増改築を行い、平成18年3月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成28年2月、協働事業提案制度事業により常設展示をリニューアルした。

（1）施設概要

ア 所在地	相模原市緑区又野691番地
イ 電話番号	042-784-0660
ウ 延べ床面積	229.62㎡
エ 建物構造	木造1階建て
オ 休館日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く） 年末年始（12月28日～1月3日）
カ 開館時間	午前9時～午後4時30分

（2）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩で作られた高さ3メートル、幅50センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、弔堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和46年に現在の場所に移設された。

（3）弔堂桜・里帰り桜



尾崎行雄が東京市長在職中の明治45年、米国ワシントンのポトマック公園に3,000本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど4品種の桜苗木を「弔堂桜」と命名、その内の「普賢象」1本が平成4年、記念館の庭に植樹された。

また、平成24年には桜寄贈100周年を記念し、新たな里帰り桜「ソメイヨシノ」1本が有志により植栽され、平成29

年には「尾崎行雄を全国に発信する会」との協働事業における100本の「里帰り桜」植樹事業のうち「関山」1本を敷地内に植樹した。

(4) 企画展・講演会・展示

博物館主催事業及び「尾崎行雄を全国に発信する会」へ委託し、次の事業を開催した。

ア 博物館主催事業（全2件）

	事業名	実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1	【再掲】ミニ企画展「尾崎行雄の不戦運動」巡回展示※ @尾崎罌堂記念館	4/16(土) ～6/12(日)	137人	尾崎行雄の不戦運動をテーマとしたパネル展示。
2	【再掲】大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連ミニ展示 「鎌倉時代初めの相模原の武士団 横山党」巡回展示※ @尾崎罌堂記念館	6/18(土) ～8/28(日)	379人	鎌倉時代初期に市内で活躍した横山党や、13人の御家人の1人・和田義盛ゆかりの地などを紹介。

※ 16頁Ⅲ3(3)1・3の再掲

イ 尾崎行雄を全国に発信する会への委託事業（全2件）

	事業名	実施日	期間中の入荷者数	内容・備考
1	【再掲】ミニ企画展「尾崎行雄(罌堂)の桜と相模原市の桜」※1	11/5(土) ～12/18(日)	14,022人	尾崎行雄による米国への桜寄贈と、相模原市の桜への取り組みを紹介。 会場 博物館
(1)	【再掲】講演会「東京市長時代の尾崎行雄－日米友好の桜寄贈を中心に－」※1	12/4(日)	23人	東京市長時代の尾崎に関する講演会。 会場 博物館 講師 石田 尊昭さん((一財)尾崎行雄記念財団理事・事務局長)
2	【再掲】近・現代史講演会「山本五十六と現代」※2	R5/1/22(日)	29人	尾崎行雄と交流のあった山本五十六に関する講演会。 会場 尾崎罌堂記念館 講師 渡邊 裕鴻さん(海軍史家)

※1 16頁Ⅲ3(2)14(1)の再掲

※2 18頁Ⅲ4(1)4の再掲

(5) 横断幕の設置

国道413号の県立相模原城山高校前(10～12月)と津久井総合事務所前(令和5年1～3月)に尾崎罌堂記念館を案内する横断幕を設置した。

(6) 案内看板のリニューアル

国道413号の尾崎罌堂記念館・津久井又野公園の案内看板をリニューアルした(10月)。

(7) パンフレット

令和4年10月に尾崎罌堂記念館パンフレットの全面改訂を行った。パンフレットは博物館ほか市内で配布し、博物館ホームページにPDFデータを公開した。

2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



外観



2階展示室

吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられた。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成18年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道20号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンした。また、平成26年4月1日には町屋遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

平成29年4月から土・日曜・祝日のみの開館とした。

（1）施設概要

ア 住 所	相模原市緑区吉野214番地
イ 電 話 番 号	042-687-5022
ウ 延べ床面積	392.51㎡
エ 建 物 構 造	木造3階建て
オ 開 館 日	日曜・土曜・休日（年末年始（12月28日～1月3日）を除く）
カ 開 館 時 間	午前10時～午後4時

（2）企画展（2事業）

「NPO法人ふじの里山くらぶ」へ委託し、企画展を開催した。

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	山下勉 絵画展	11/3(木・祝) ～R5/1/29(日)	477人	地元で活躍している画家である山下勉氏の絵画を展示。
2	「甲州道中(相模湖・藤野・上野原)のおひな様」展	2/11(土・祝) ～3/12(日)	395人	地元に伝わるおひな様を展示。

3 入館者数一覧

(1) 尾崎粁堂記念館

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
平成30年度	1,738	306	5.7
令和 元年度	1,700	*1 280	6.1
2年度	582	*2 190	3.1
3年度	815	*3 255	3.2
4年度	1,249	297	4.2

- *1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館
- *2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月5日(金)及び令和3年1月13日(水)～3月21日(日)休館
- *3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日(金)～9月30日(木)休館

(2) 吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
平成30年度	2,012	115	17.5
令和 元年度	1,711	*1 109	15.7
2年度	562	*2 72	7.8
3年度	1,305	*3 98	13.3
4年度	*4 1,361	117	11.6

- *1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館
- *2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月5日(金)及び令和3年1月13日(水)～3月26日(金)休館
- *3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日(金)～9月30日(木)休館
- *4 団体及び企画展による平日の利用人数を含めると1,629人/135日

VIII 企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧

令和4年度 企画展・プラネタリウム・全天周映画一覧

月	企画展		プラネタリウム		全天周映画	
4	館野鴻絵本原画展 「がろあむし 描かれた相模原の自然」 3.26～6.5		プラネタリウムで 宇宙たんけん！（春） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 3.5～5.29	星空さんぽ ～春～ 3.1～5.31	イナズマデリバリー バイザウェイの 宇宙旅行?！（同時上映） まくまくんの 星空大冒険（春） 3.5～4.6	HAYABUSA2 ～REBORN 帰還バージョン R3.10.1～4.6
5					秘密結社鷹の爪 ブラブラ！ ブラックホールのナゾ （同時上映） まくまくんの 星空大冒険（春） 4.9～5.29	迷宮のプラネタリウム （同時上映） まくまくんの 星空大冒険（春） 4.7～5.31
6			プラネタリウムで 宇宙たんけん！（夏） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 6.4～8.28	星空さんぽ ～夏～ 6.1～8.31	秘密結社鷹の爪 ブラブラ！ ブラックホールのナゾ （同時上映） まくまくんの 星空大冒険（夏） 6.4～6.5	迷宮のプラネタリウム （同時上映） まくまくんの 星空大冒険（夏） 6.1～6.10
					HAYABUSA BACK TO THE EARTH 帰還バージョン DC版 6.11～6.19	HAYABUSA2 ～REBORN 帰還バージョン 6.11～6.19
7	JAXA連携企画展 「相模原と月vol.2 ～太陽系惑星の月たち～」 6.25～8.28				秘密結社鷹の爪 ブラブラ！ ブラックホールのナゾ （同時上映） まくまくんの 星空大冒険（夏） 6.25～8.28	迷宮のプラネタリウム （同時上映） まくまくんの 星空大冒険（夏） 6.23～8.31
8						
9	第7回 わお！な生きもの フォトコンテスト写真展」 9.10～10.16		プラネタリウムで 宇宙たんけん！（秋） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 9.3～11.27	星空さんぽ ～秋～ 9.1～11.30	秘密結社鷹の爪 ブラブラ！ ブラックホールのナゾ （同時上映） まくまくんの 星空大冒険（秋） 9.3～9.25	迷宮のプラネタリウム （同時上映） まくまくんの 星空大冒険（秋） 9.1～9.30
10						
11	学習資料展 昔の小学生 ー昭和30年代～ 40年代の 子どもの世界ー 11.1～R5.1.15	ようこそ！ 竹細工 ワールドへ！！ ～久保沢最後の 籠屋さん～ 11.1～R5.1.15	プラネタリウムで 宇宙たんけん！（冬） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 12.3～2.26	星空さんぽ ～冬～ 12.1～2.28	HAYABUSA BACK TO THE EARTH 帰還バージョン DC版 12.6～12.11	
12					プラネタリウムで 宇宙たんけん！（春） ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 3.4～5.28	星空さんぽ ～春～ 3.1～5.31
1						
2	令和4年度かながわの遺跡展 縄文人の環境適応 2.7～3.5					
3	考古企画展 「新発見！さがみはらの遺跡」 3.18～4.16					

IX 企画展（特別展示）ポスター一覧



館野鴻絵本原画展
「がろあむし
描かれた相模原の自然」



JAXA連携企画展
「相模原と月vol. 2
～太陽系惑星の月たち～」



第7回 わお！な生きもの
フォトコンテスト写真展



学習資料展 昔の小学生
—昭和30年代～40年代の
子どもの世界—



ようこそ！竹細工ワールドへ！！
～久保沢最後の籠屋さん～



令和4年度かながわの遺跡展
縄文人の環境適応



考古企画展
「新発見！さがみはらの遺跡」

X 博物館略年表

年	月	事 項
昭和55年	4月	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる
昭和56年	4月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和56年	6月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和56年	10月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和58年	2月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和58年	6月	展示専門委員会の設置
昭和59年	3月	博物館展示基本計画の策定
平成2年	11月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成3年	4月	博物館建設事務所設置
平成3年	5月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成3年	7月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成3年	8月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成3年	9月	建築基本設計着手
平成4年	1月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成4年	2月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成4年	5月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成5年	6月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成6年	8月	天体観測機器設置工事契約
平成7年	3月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第32号)
平成7年	7月	博物館建設工事竣工
平成7年	10月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成7年11月20日 開館		
平成8年	1月	天体観測室と観測テラスで「星空観望会」を開始 5/19 入館者数10万人を超える
平成8年	5月	入館者10万人達成記念式典

令和4年度 相模原市立博物館 年報

平成 8 年 1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始
平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場(50 台収容)が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 1 0 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 1 1 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 1 1 年 1 1 月	11/21 入館者数 50 万人を超える
平成 1 2 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 1 6 年 1 月	1/18 入館者数 100 万人を超える
	入館者 100 万人達成セレモニー
平成 1 7 年 1 月	企画展示として「学習資料展」を開始
平成 1 7 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 1 7 年 1 0 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施
平成 1 7 年 1 1 月	相模原市立博物館開館 10 周年
平成 2 2 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設(補助執行)
平成 2 2 年 7 月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開 以後、毎年 JAXA 連携企画展を開催
平成 2 3 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 2 3 年 5 月	博物館周辺の動植物を観察するミニ観察会を開始(現在は「生きものミニサロン」として実施)
平成 2 3 年 7 月	市内小中学校の教材利用として博物館資料の「貸出しキット」事業の開始
平成 2 3 年 8 月	8/28 入館者数 200 万人を超える
	入館者 200 万人達成セレモニー
平成 2 3 年 1 1 月	ボランティアや中高生の部活動の発表の場として「学びの収穫祭」を開始
平成 2 4 年 1 月	Twitter を開設(@scm_sagapon) 「相模原市立博物館の職員ブログ」を開設
平成 2 4 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える

令和4年度 相模原市立博物館 年報

平成25年	4月	研究者らを招き月1回、講演やワークショップを行う「さがみはら宇宙の日」を開始(令和元年度まで)
平成25年	7月	吉野宿ふじやリニューアルオープン 小惑星イトカワの微粒子を世界初公開(光学顕微鏡による直接観覧)
平成25年	8月	市民協働事業で博物館と尾崎弔堂記念館にWi-Fi環境導入(尾崎弔堂記念館のWi-Fiは令和3年3月まで)
平成27年	3月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル 津久井郷土資料室を廃止
平成27年	6月	6/20 入館者数250万人を超える
平成27年	11月	相模原市立博物館開館20周年
平成28年	2月	尾崎弔堂記念館常設展示リニューアル
平成28年	4月	プラネタリウムの操作等業務委託をPPP(Public Private Partnership)で選考した業者と契約
平成29年	4月	吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約
平成31年	3月	3/19 入館者数300万人を超える 来館者数300万人達成記念事業実施
平成31年	4月	市史編さん班廃止
令和2年	9月	「ネットで楽しむ博物館(YouTube・相模原市立博物館公式チャンネル)」を開設
令和2年	11月	相模原市立博物館開館25周年 相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード作成・販売開始
令和3年	2月	博物館入口に「さがみん×はやっ君デザインマンホール蓋」を設置
	3月	小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセルを世界初公開
	7月	博物館キャラクター「おびのっち」が商標原簿に登録
	12月	小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星リュウグウサンプルを公開
令和4年	4月	「星空観望会」をリニューアルし、新たに「ナイトプラネタリウム&観望」として開始
令和5年	2月	Instagramを開設(@sagamihara_city_museum)
	3月	博物館内全館(一部を除く)にフリーWi-Fiを再整備し、スマートフォン等を活用した多言語対応の展示ガイドを導入

○相模原市立博物館条例

平成7年3月23日

条例第13号

改正 平成11年12月22日条例第58号

平成21年12月22日条例第36号

平成24年3月27日条例第21号

令和5年1月23日条例第2号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館(以下「博物館」という。)を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。

(一部改正〔平成21年条例第36号〕)

(観覧料)

第3条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、プラネタリウム投影又は全天周映画を観覧しようとするときは、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 利用者は、特別な企画の展示が行われている場合において、当該展示に係る資料を観覧しようとするときは、教育委員会がその都度定める観覧料を納付しなければならない。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第4条 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料の不還付)

第5条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が、観覧料を納付した者の責めによらない理由により観覧することができないと認めるときは、この限りでない。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用を制限し、又は中

止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。
- (2) 博物館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (3) 博物館の施設、設備、資料等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があると認められるとき。

(博物館資料の特別利用)

第7条 学術研究等のため、博物館資料(博物館に保管され、又は展示されている資料をいう。以下同じ。)の撮影、模写、模造その他の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(博物館資料の館外貸出し)

第8条 次に掲げるものは、博物館資料の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法第2条第1項に規定する博物館及び同法第31条第2項に規定する指定施設
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (3) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (4) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

2 館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕、一部改正〔令和5年条例2号〕)

(特別利用等の条件)

第9条 教育委員会は、博物館の管理上及び博物館資料の保全上必要と認める範囲内で、第7条又は前条第2項の承認に条件を付することができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の制限)

第10条 教育委員会は、次に掲げる博物館資料については、第7条又は第8条第2項の承認をしないものとする。

- (1) 保全上支障があると認めるもの

- (2) 寄託を受けたもので寄託者の承諾を得ていないもの
- (3) 著作権のあるもので著作権者の承諾を得ていないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が適当でないと認めるもの

(追加〔平成11年条例58号〕)

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、博物館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(販売行為等の禁止)

第12条 何人も、博物館において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(損害賠償)

第13条 博物館の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成11年条例58号〕)

(博物館協議会の設置)

第14条 博物館法第23条第1項の規定に基づき、博物館に相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号・令和5年2号〕)

(定数)

第15条 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委員)

第16条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

(5) 市の住民

2 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会の委員は、再任されることができる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会長及び副会長)

第17条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会議)

第18条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(運営等)

第19条 第14条から前条までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委任)

第20条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

附 則

この条例は、公布の日から起算して9月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成7年規則第36号で平成7年11月20日から施行)

附 則(平成11年12月22日条例第58号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月27日条例第21号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和5年1月23日条例第2号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区分		単位	観覧料	
			大人	小人
プラネタリウム投 影	個人	1回につき	500円	200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円	160円
全天周映画	個人	1回につき	500円	200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円	160円

備考

- 1 小人とは、小学校に就学するまでの4歳以上の者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。
- 2 4歳未満の者は、無料とする。

○相模原市立博物館条例施行規則

平成7年9月29日

教委規則第8号

改正 平成9年1月16日教育委員会規則第2号

平成11年3月31日教育委員会規則第10号

平成12年3月31日教育委員会規則第18号

平成14年10月1日教育委員会規則第19号

平成15年3月14日教育委員会規則第2号

平成17年3月31日教育委員会規則第3号

平成17年7月29日教育委員会規則第20号

平成19年3月30日教育委員会規則第29号

平成21年4月1日教育委員会規則第7号

平成24年3月30日教育委員会規則第9号

平成26年9月30日教育委員会規則第20号

平成27年3月30日教育委員会規則第15号

平成28年3月28日教育委員会規則第10号

平成30年9月28日教育委員会規則第12号

令和元年6月28日教育委員会規則第2号

令和2年12月28日教育委員会規則第33号

令和5年3月29日教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立博物館条例(平成7年相模原市条例第13号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)
- (2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)
- (3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

(一部改正〔平成27年教委規則15号〕)

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日等の周知)

第4条 教育委員会は、第2条第1項第4号の規定により休館日を定め、若しくは同条第2項の規定により休館日を開館日とするとき又は前条第2項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を告示する等市民への周知を図るものとする。

(観覧券の交付)

第5条 教育委員会は、条例第3条第1項の観覧料を納付した者にプラネタリウム投影等観覧券を、同条第2項の観覧料を納付した者に特別展観覧券を交付するものとする。

(一部改正〔令和5年教委規則6号〕)

(観覧料の減免)

第6条 条例第4条の規定による観覧料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)の児童・生徒(それぞれの引率者を含む。)が、教育課程に基づく教育活動により観覧しようとするとき。 100パーセント
- (2) 市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園若しくは保育所又はこれらに準ずる施設が行う教育活動等により幼児(その引率者を含む。)が観覧しようとするとき。 50パーセント
- (3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が観覧しようとするとき。 100パーセント

(4) 相模原市医療費助成条例施行規則(昭和49年相模原市規則第17号)第13条第1項第2号に規定するひとり親家庭等であることの証明書に記載されている者(これに準ずる市外在住の者を含む。)が観覧しようとするとき。 100パーセント

(5) 65歳以上の者が観覧しようとするとき。 50パーセント

2 前項の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、博物館観覧料減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前項第3号、第4号又は第5号に該当するときは、申請書の提出を省略することができる。

3 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、観覧料を、減額し、又は免除するときは博物館観覧料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成9年教委規則2号・11年10号・15年2号・17年3号・20号・19年29号・21年7号・24年9号・26年20号・27年15号・28年10号・30年12号・令和2年33号〕)

(観覧料の還付手続)

第7条 条例第5条ただし書の規定により観覧料の還付を受けようとする者は、その旨及び観覧することができない理由を記載した書面にプラネタリウム投影等観覧券又は特別展観覧券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

(特別利用の手続)

第8条 条例第7条の規定により特別利用の承認を受けようとする者は、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その特別利用を、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請した者に通知するものとする。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号〕)

(館外貸出しの手続)

第9条 条例第8条第2項の規定により館外貸出しの承認を受けようとするものは、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その館外貸出しを、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請したものに通知するものとする。

3 館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、当該期間を延長することができる。

4 教育委員会は、必要があるときは、館外貸出しの期間中であっても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・26年20号〕)

(博物館資料の複写)

第10条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、別に定めるところにより、博物館資料の複写をすることができる。ただし、技術上複写をすることが困難なものその他教育委員会が適当でないと認める博物館資料については、この限りでない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(販売行為等の許可手続)

第11条 条例第12条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとするものは、相模原市立博物館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立博物館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(追加〔令和5年教委規則6号〕)

(遵守事項)

第12条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 許可なく動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。))を除く。)又は危険若しくは不潔な物品を持ち込まないこと。

(2) 博物館資料(第9条第2項の承認を受けたものを除く。)又は博物館の器具等を博物館外に持ち出さないこと。

(3) 指定された場所以外の場所で飲食しないこと。

(4) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(5) 博物館の職員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・14年19号・令和元年2号・5年6号〕)

(損傷等の届出)

第13条 博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を文書

により教育委員会に届け出なければならない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・令和5年6号〕)

(協議会の庶務)

第14条 相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の庶務は、博物館で処理する。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号・令和5年6号〕)

(協議会会長への委任)

第15条 前条に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号・令和5年6号〕)

(様式)

第16条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成19年教委規則29号〕、一部改正〔平成24年教委規則9号・26年20号・令和5年6号〕)

(委任)

第17条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号・24年9号・27年15号・令和5年6号〕)

附 則

この規則は、平成7年11月20日から施行する。

附 則(平成9年1月16日教委規則第2号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教委規則第18号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年10月1日教委規則第19号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年3月14日教委規則第2号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月31日教委規則第3号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年7月29日教委規則第20号)

この規則は、平成18年4月1日から施行し、同日以後に行う観覧料の減免について適用する。

附 則(平成19年3月30日教委規則第29号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年4月1日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教委規則第9号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年9月30日教委規則第20号)

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附 則(平成27年3月30日教委規則第15号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月28日教委規則第10号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年9月28日教委規則第12号)

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則(令和元年6月28日教委規則第2号)

この規則は、令和元年7月1日から施行する。

附 則(令和2年12月28日教委規則第33号)

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則(令和5年3月29日教委規則第6号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例

平成17年12月21日

条例第165号

改正 平成21年12月22日条例第36号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 ^{がく}堂尾崎行雄の生誕地の屋敷跡を保存し、ゆかりの文献、遺品その他の資料を展示するとともに、青少年の勉学場とし、その健全な育成に寄与するため、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館(以下「記念館」という。)を相模原市緑区又野691番地に設置する。

(一部改正〔平成21年条例第36号〕)

(利用の承認)

第3条 記念館を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

2 教育委員会は、記念館の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第1項の利用の承認をしないものとする。

- (1) 記念館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 記念館の施設、器具等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、記念館の管理上支障があると認められるとき。

(利用承認の取消し等)

第5条 教育委員会は、第3条の規定による利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、教育委員会はこれらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

- (1) 利用者が第3条第2項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。

(2) 利用の申請に虚偽又は不正があったとき。

(3) 前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(4) 災害その他やむを得ない理由により教育委員会が必要と認めたとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)が、この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第6条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等の承認)

第7条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、記念館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(販売行為等の禁止)

第9条 何人も、記念館の敷地内において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第10条 利用者は、記念館の利用を終了したとき、又は第5条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第11条 記念館の施設等及び展示品等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(津久井町の編入に伴う経過措置)

- 2 この条例の施行の日前に旧津久井町立尾崎弔堂記念館の設置及び管理に関する条例(昭和55年津久井町条例第18号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例施行規則

平成18年2月24日

教育委員会規則第10号

改正 平成27年1月13日教育委員会規則第1号

令和2年3月31日教育委員会規則第19号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例(平成17年相模原市条例第165号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立尾崎^{がく}堂記念館(以下「記念館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)

(2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)

(3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

3 教育委員会は、第1項第4号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を告示等により市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用できる時間及び受付時間)

第3条 記念館を利用できる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 記念館の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前9時から午後4時30分までとする。

(利用承認申請手続)

第4条 条例第3条第1項の規定により承認を受けようとする者(承認された事項を変更しようとする者を除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館利用承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、資料室の観覧の申請にあつては、口頭で行うものとする。

2 前項の申請書は、利用しようとする日の2日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用の承認等)

- 第5条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請書の提出があった場合において、その利用を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認通知書(以下「利用承認通知書」という。)により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。ただし、前条第1項ただし書の規定により口頭でなされた申請に対する承認又は承認しない旨の通知は、口頭で行うものとする。
- 2 前項本文の規定による利用の承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、公用又は公共のため、教育委員会が特に必要と認めた場合は、この限りでない。
- 3 利用承認通知書により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用の取消し及び承認事項変更の手続)

- 第6条 利用者は、記念館の利用の取消し又は承認された事項の変更をしようとするときは、相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認取消(変更)申請書を教育委員会に提出しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、利用の取消し又は承認事項の変更を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(特別な設備等の承認手続)

- 第7条 条例第7条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする者は、相模原市立尾崎弔堂記念館特別設備等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別な設備等を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(販売行為等の許可手続)

- 第8条 条例第9条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立尾崎弔堂記念館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可

するときは相模原市立尾崎弔堂記念館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(遵守事項)

第9条 利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 承認された以外の施設、器具等を利用しないこと。
- (2) 許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (3) 許可なく火気を使用しないこと。
- (4) 許可なく記念館の器具等を所定の保管場所以外へ移動させないこと。
- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (6) 許可なく所定の場所以外の場所で飲食しないこと。
- (7) 喫煙をしないこと。
- (8) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (9) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(職務上の立入り)

第10条 教育委員会は、記念館の管理上必要と認めたときは、係員を利用の承認をしている施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことはできない。

(損傷等の届出)

第11条 記念館の施設、器具等を損傷し、又は滅失した者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第12条 利用者は、記念館の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

(様式)

第13条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成27年教委規則1号〕)

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、記念館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

附 則

- 1 この規則は、平成18年3月20日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に旧津久井町立尾崎罌堂記念館の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和55年津久井町教育委員会規則第3号)の規定により定められた様式用の紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成27年1月13日教委規則第1号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日教委規則第19号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

○相模原市吉野宿ふじや管理規程

平成28年4月1日

教育委員会告示第12号

改正 平成29年4月1日教育委員会告示第5号

令和2年3月31日教育委員会告示第14号

(趣旨)

第1条 この告示は、相模原市緑区吉野214番地に所在する吉野宿ふじやの適正な保存及び活用を図るため、その管理について必要な事項を定めるものとする。

(観覧日)

第2条 吉野宿ふじやの観覧ができる日(以下「観覧日」という。)は、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日とする。ただし、次に掲げる日を除く。

(1) 12月28日から翌年の1月3日までの日

(2) 前号に掲げる日のほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、観覧ができない日を観覧日とすることができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(団体利用の特例)

第3条 前条に規定する観覧日のほか、10人以上の団体から観覧の申込みがあった場合で教育委員会が認めたときは、観覧ができない日であっても観覧させることができる。

(追加〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができる時間)

第4条 吉野宿ふじやの観覧ができる時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができない日等の周知)

第5条 教育委員会は、第2条第1項第2号の規定により観覧ができない日を定め、若しくは同条第2項の規定により観覧ができない日を観覧日とするとき又は前条ただし書の規定により観覧ができる時間を変更するときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧に係る料金)

第6条 吉野宿ふじやの観覧に係る料金は、無料とする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧の制限)

第7条 教育委員会は、吉野宿ふじやの管理上適当でないと認められる者があるときは、その観覧を制限することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(遵守事項)

第8条 吉野宿ふじやを観覧する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、資料等を損傷し、又は汚損しないこと。
- (2) 許可なく火気を使用しないこと。
- (3) 許可なく飲食しないこと。
- (4) 喫煙をしないこと。
- (5) 許可なく物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (7) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (8) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成29年教委告示5号・令和2年14号〕)

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、吉野宿ふじやの管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

附 則(平成29年4月1日教委告示第5号)

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日教委告示第14号)

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

発行日 令和5年4月1日
相模原市立博物館
住 所 〒252-0221 相模原市中央区高根3-1-15
TEL 042-750-8030
FAX 042-750-8061
E-mail hakubutsukan@city.sagami-hara.kanagawa.jp
URL <https://sagami-hara-city-museum.jp/>